



**SMART**<sup>TM</sup>

# **SMART Notebook**

## ユーザガイド

## 目次

<b>CHAPTER 1 SMART Notebook の導入</b>	<b>1</b>
SMART Notebook の基本	1
SMART Notebook ファイルの作成	1
SMART ツール	1
<b>CHAPTER 2 SMART Notebook の基本</b>	<b>2</b>
インタラクティブ・スクリーンの左クリック	2
インタラクティブ・スクリーンの右クリック	2
Ink Aware プログラムでのインタラクティブ・スクリーン上の描画	2
非Ink Aware プログラムでのインタラクティブ・スクリーン上の描画	3
タッチ認識を利用した書き込みと選択	4
<b>CHAPTER 3 SMART Notebook ファイルの作成</b>	<b>5</b>
SMART Notebook Window	5
SMART Notebook ツールバー	6
全画面ビューにファイル表示	9
メニューアロー	9
ページ拡大の選択	10
2分割画面表示	10
リンク表示	11
新しいファイルを作成	12
ファイルを開く	12
ファイルの保存	12
ファイルまたはページの印刷	14
E-mail メッセージにファイルを添付	14
ページ表示	15
ページの挿入	15
ページのクローン	15
ページの削除	16
ページの背景の変更	16

ファイル、グループ、ページにテーマを適用	17
ページの拡大	17
ページの名前の変更	17
ページの再アレンジ	18
ページにスクリーンシェードを追加	18
オブジェクトの描画	19
ファンシーペンを使ったオブジェクトの描画	19
図形の作成	19
図形の描画	20
直線の描画	20
テキスト入力	20
手書き文字の変換	21
数学用シンボルの挿入	22
グラフィックファイルの挿入	22
スキャンしたイメージの挿入	23
SMART ドキュメントカメラからイメージを挿入する	23
フラッシュファイルをページに挿入する	24
フラッシュビデオファイルをページに挿入する	25
ページにSMART Response またはSenteo 質問を挿入する	25
オブジェクトにリンクを追加する	26
サウンドファイルをページに追加する	27
ページ上でオブジェクトをアニメーション化する	28
ページ上で取り消しおよびやり直しをおこなう	28
オブジェクトの選択	29
ページ上のオブジェクトの操作	30
ページ上でオブジェクトをグループ化	30
ページ上に配置されたオブジェクトをロックする	30
オブジェクトの移動	31
ページ上のオブジェクトを整列させる	31
オブジェクトのサイズ変更	32
オブジェクトの回転	32
オブジェクトの反転	33

スタックに重なったオブジェクトの再アレンジ	33
ページ上のオブジェクトの削除	33
オブジェクトの切り取りおよび貼付け	34
オブジェクトのコピーと貼付け	34
オブジェクトのクローン	34
オブジェクトのプロパティの変更	35
オブジェクトプロパティの適用	36
グラフィックの透明部分の作成	37
ページのテキストの編集	37
テキストオブジェクトのスペルチェック	37
ページから削除	38
ページからオブジェクトを削除	38
ページのクリア	38
表にオブジェクトを追加	39
表、行、列を選択	40
表の移動	41
表のプロパティの変更	41
表、行、列のサイズ変更	41
行、列あるいはセルの追加と削除	42
表のセルの分割と統合	43
セルシェードの追加と削除	43
ページから表を取り除く	44
ページソーター	44
ページソーターを開く	44
ページのグルーピング	45
ギャラリー	45
ギャラリーを開く	46
ギャラリーの参照と検索	46
ページにギャラリー項目の追加	47
ギャラリーのオブジェクトの追加	47
ギャラリーにページの追加	47
ギャラリーにサポートファイルを追加	48

ギャラリーにテーマを追加	48
ギャラリーコンテンツの整理	48
ギャラリーコレクションのインポート	49
ギャラリーコレクションのエクスポート	49
ギャラリーにオンラインコンテンツをインポート	50
チームコンテンツに接続	50
添付タブを開く	51
添付タブの項目を開く	51
添付タブにファイルのコピーを添付	52
プロパティタブの利用	53
プロパティタブを開く	53
ページのレコーディング	54
Notebook ファイルへのインポート	55
SMART Notebook プリントキャプチャでファイルにインポート	55
ページヘテキストの貼付け	56
Microsoft PowerPoint ファイルのインポート	56
他社のホワイトボードプログラムからNotebook ファイルへのインポート	57
Notebook ファイルからのエクスポート	57
ファイルのエクスポート	57
自動的にファイルをエクスポート	58
ページからテキストの切り取りまたはコピー	60
プレゼンテーションツールの利用	61
マジックペンを利用したオブジェクトのフェード	61
マジックペンを利用したオブジェクトの拡大ウィンドウ	61
マジックペンを利用したオブジェクトのスポットライト・ウィンドウ	62
<b>CHAPTER 4 SMART ツール</b>	<b>63</b>
ようこそ センター	63
SMART 製品のロック	64
レコードビデオとオーディオ音質の変更	65
ビデオ形式の変更	66
レコードファイルのロケーションの変更	67
レコーディングにすかし模様を加える	68

インタラクティブスクリーンの操作をレコーディング	70
レコーディングの共有	71
SMART ビデオプレイヤー	72
ビデオプレイヤーを使ってビデオファイルを再生	73
SMART ビデオプレイヤーの設定変更	75
SMART ビデオプレイヤー、プレイリストの作成	75
SMART キーボード	76
テキスト入力	76
スクリーンシェードを使う	78
スポットライトの利用	79
拡大鏡の利用	79
電卓の使用	80
大型ポインターの使用	80
ツールバーを用いたスクリーンキャプチャ	81
フローティングツール	82
フローティングツールの左クリック操作	85
フローティングツールの描画操作	85
フローティングツールのハイライト操作	86
フローティングツールの削除操作	86
フローティングツールの線描画操作	86
フローティングツールの図形描画操作	86
フローティングツールの右クリック操作	87
フローティングツールの取り消し操作	87
カンファレンスの挿入とBridgit ソフトウェア	87
<b>CHAPTER 5 コントロールパネルの設定</b>	<b>91</b>
コントロールパネルを開くには	91
SMART ハードウェア設定の変更	91
校正/調整精度の変更	93
マウス設定の変更	93
タッチ認識の有効化	94
ビデオ出力の配置の変更	95
詳細設定の変更	96

アイコンストリップの設定	96
Ink Aware プログラムリストの閲覧	98
インタラクティブスクリーンの校正	99
言語の変更	99
<b>CHAPTER 6 トラブルシューティング</b>	<b>101</b>
SMART Notebookのアップデート	101
トラブルシューティングの問い合わせ	102
索引	103

# CHAPTER 1 SMART Notebook の導入

SMART NotebookはSMARTインタラクティブ製品と共に利用する基本ソフトウェアです。

## SMART Notebook の基本

スマートボードはインタラクティブスクリーン上の接触点を検出し、接触点とペンツールの情報とともに接続されているコンピュータに送信します。SMART Notebook はこれらの情報をマウスクリックやデジタルインクに変換します。

SMART Notebook は指やペンでインタラクティブスクリーンをプレスすることで通常のコンピュータ操作を実現します。デジタルインクで描画されたコンテンツはノートとして保存できます。

## SMART Notebook ファイルの作成

レッスンやプレゼンテーションを作成するのにSMART Notebook を使います。各notebook ファイルは連続したページから構成されています。また各ページには独自のオブジェクトやプロパティや設定があります。ページにはフリーハンドのオブジェクトや図形や線画やテキスト、それにフラッシュコンテンツや表を加えることができいつでも自由に編集可能です。

Window, MacやLinuxのオペレーティングシステムで互換のフォーマットで保存し、これらのファイルはHTMLやPDFを含む多様なフォーマットで書き出しができます。ギャラリーからページにクリップアートや背景、マルチメディアコンテンツや notebookファイルやページをコピーすることができます。ギャラリーはまたマルチメディアのリソースへのアクセスを可能にしています。

## SMART ツール

スクリーンシェード、スポットライト、拡大鏡やポインター等のSMART ツールを使ってページへの注意を引くことができます。



## CHAPTER 2 SMART Notebook の基本

スマートボードを使って指やタブレットに付属のペンでスクリーンをプレスすることで通常のコンピュータ操作を実行することができます

### インタラクティブ・スクリーンの左クリック

#### 左クリックするには

スマートボードを使う場合、ペントレイにペントレイツールがあることを確認してください。指でホワイトボードをプレスします。Symposium™ DT770 ペンディスプレイを使う場合、ポインター ペンツールボタンを押して指あるいはタブレットに付属のペンでホワイトボードをプレスします。またSymposium™ ID250, ID350 または ID370 ペンディスプレイを使う場合、選択ペンツールボタンを押してタブレットに付属のペンでホワイトボードをプレスします。

### インタラクティブ・スクリーンの右クリック

#### 右クリックするには

スマートボードを使う場合、ペントレイの右クリックボタンをタッチして指でホワイトボードをプレスします。Symposium™ DT770 ペンディスプレイを使う場合、右クリック機能ボタンを押して指あるいはタブレットに付属のペンでホワイトボードをプレスします。またSymposium™ ID250, ID350 または ID370 ペンディスプレイを使う場合、右クリック機能ボタンをタッチして指あるいはタブレットに付属のペンでホワイトボードをプレスします。

### Ink Aware プログラムでのインタラクティブ・スクリーン上の描画

ペントレイペンあるいはタブレットに付属のペンでスマートボードに描画可能です。プログラムがInk Awareソフトウェアであればインタラクティブ製品に書き込まれた内容はSMART Notebookのファイルに組み入れることが可能で、プログラムファイルの一部になります。Ink AwareソフトウェアプログラムにはMicrosoft Word, Excel また PowerPointソフトウェアが含まれています。

#### インタラクティブスクリーン上で描画するには

スマートボードを使う場合、ペントレイペンを使ってホワイトボードに書き込みます。ペンディスプレイを使う場合、デジタルインク ペンツールボタンをプレスしてタブレットに付属のペンを使ってスクリーンに書き込みます。

#### ヒント

書き込み中に手の平や肘をスクリーンに寄り掛かからないでください。ツールオプションを使ってノートをテキストとして描画をイメージとして挿入します。

#### ノートを保存するには

書き込みが終わった後にノートをプログラムに保存します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## 非Ink Aware プログラムでのインタラクティブ・スクリーン上の描画

プログラムが非Awareソフトウェアであれば、インタラクティブ製品に書き込まれた内容は現在のプログラム上のインクレイヤーに表示されます。

### インタラクティブスクリーンに描画するには

スマートボードを使う場合、ペントレイペンを使ってホワイトボードに書き込みます。またはペンディスプレイを使う場合、デジタルインク ペンツールボタンをプレスしてタブレットに付属のペンでスクリーンに書き込みます。ノートにテキストとして挿入するには右タッチして表示されるメニューの **ここに...挿入する**のひとつを選択します。

### デジタルインクを削除するには

1. スマートボードを使う場合、デジタルインクを消すためにイレーサーを取り上げてスクリーン上でプレスします。またはペンディスプレイを使う場合、イレーサーペンツールボタンを押してデジタルインクを消すためにタブレットに付属のペンをプレスします。

2. イレーサーをペントレイに戻します。(ホワイトボード)あるいは、他のペンツールボタンを選択します。(ペンディスプレイ)。ノートのスクリーンキャプチャを撮るにはスクリーンの上部右隅のスクリーンキャプチャをプレスします。各スクリーンキャプチャはイメージとしてファイルに表示されます。

全てのノートをクリアするには スクリーンの上部右隅のクリアをプレスします。クリアされたノートをもとに戻すには スクリーンの下部右隅のサムネイルをプレスします。サムネイルはノートの消去後 約5秒間表示されます。

1. スマートボードを使う場合、ペントレイペンを取り上げます。

ペンディスプレイを使う場合、タブレットに付属のペンを取り上げてデジタルインクペンツールボタンをプレスします。インクレイヤーが現在のプログラム上に表示されます。

2. 右タッチして表示されるメニューのインクレイヤーオプションを選択します。デジタルインクレイヤーオプション・ダイアログボックスが表示されます。

3. インクレイヤーの設定を選択します。:

-境界のないインクレイヤーを表示するには**インクレイヤーの周囲の境界線を表示する**のチェックボックスのマークをクリアします。

-インクレイヤーから全てのノートをクリアする場合、メッセージがスクリーンの下部右隅に表示されます。ノートに再保存するにはこのメッセージをプレスします。このメッセージを表示しないようにするには**ポップアップバルーンメッセージを許可する**メッセージチェックボックスをクリアします。

-上部右隅に「画面キャプチャ」や「クリア」あるいは「閉じる」のないインクレイヤーを表示するには「画面キャプチャ」の表示、クリアあるいは「閉じる」ボタンチェックボックスをクリアします。

-左タッチ時に表示されるメニューを無効にするには「ポインターを使ってインクレイヤーを閉じる」をプレスします。

-ノートを自動的に保存したい場合は「常にインクを保存」を選択します。このオプションを選択した場合、インクレイヤーを閉じた時の画面キャプチャした内容は、Notebookプログラムの新しいページに表示されます。

4. OKをプレスします。

インクレイヤーを閉じるにはスクリーンの右上部右隅の「閉じる」をプレスします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## タッチ認識を利用した書き込みと選択

### 注意

この特徴は2009年以降に購入された SMART Board 600シリーズのみで利用可能です。タッチ認識はペンをペントレイから取り上げて書き出し、ペントレイに戻さなくても選択したり消去したりすることを可能にします。

SMART Notebookはタッチした際のタッチ操作の違いを認識します。

- ・ ペンでスクリーンを圧着する場合 SMART Notebookは小さな接触エリアを識別しスクリーン上のデジタルインクで描画します。
- ・ 指でスクリーンを圧着する場合 SMART Notebookは大きな接触エリアを識別し左マウスクリックを行います。
- ・ 手のひらでスクリーンを圧着する場合 SMART Notebookはより大きな接触エリアを識別しスクリーンからデジタルインクをイレースします。

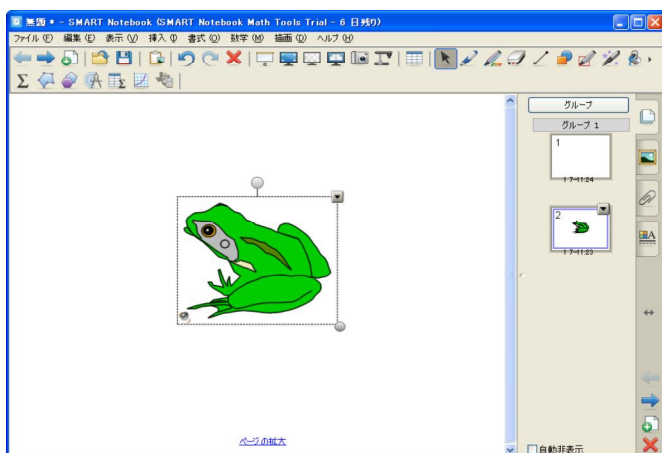
## CHAPTER 3 SMART Notebook ファイルの作成

SMART Notebookでグラフィックス、テキスト、表、線、図形、アニメーション等を含むファイルを作成できます。こうしたオブジェクトを使って移動や操作をおこなってプレゼンをすることで視聴者の興味を引くことができ、コメントや意見をデジタルインクでページに入力する事ができます。Window, Mac または Linuxオペレーティングシステムで SMART Notebookファイルを開く事ができ HTMLやPDFを含む様々なフォームにファイルをエクスポートできます。

### SMART Notebook Window

SMART Notebook Window はNotebookファイルを見たり操作するための様々な方法を提供します。

- 作業エリアには現在のページが表示され、ページのオブジェクトを作成、編集、操作が可能です。
- ページソーターは現在のファイルのページのサムネイルを表示し、ページの整頓と移動を可能にします。  
ページソーターでサムネイルをタッチすることでどのページの閲覧も可能になります。
- ギャラリーにはクリップアート、背景、Notebookファイルやプレゼンで使うことのできるページが含まれています。  
ギャラリーのサムネイルはギャラリーコンテンツのイメージのプレビューを提供します。  
またギャラリーから SMARTラーニングマーケットプレイスや他のオンラインリソースへのアクセスが可能です。
- 添付タブでファイルコピーの添付、シートカットあるいはWebページのリンクを可能にします。
- プロパティタブは現在選択されているページのオブジェクト属性の変更を可能にします。  
例えば図形を選んだ場合、プロパティタブは塗りつぶしや線種やオブジェクトアニメーションの変更を可能にします。
- SMART Notebook ツールバーは多様なコマンドとツールの選択を可能にします。



SMART Notebook **ウィンドウ**を開くには

SMART BoardアイコンをタッチしてNotebookを選択します。 .

#### 注意

コンピュータがスマートボードに接続されていないとスマートボードのアイコンの下右隅にXが表示されます。

## SMART Notebook ツールバー

SMART Notebook ツールバーはSMART Notebook ウィンドウで多様なコマンドとツールを使うことを可能にします。以下の表は初期設定のSMART Notebook ツールバーの各ボタンの機能を表示しています。最もよく使うツールがツールバーに含まれるようにカスタマイズしツールバーに利用可能なオプションを表示したり、ツールバーをスクリーンの上部か下部に移動するようにコントロールします。

アイコン	コマンド	動作
	ページの戻し	前ページを表示
	ページの送り	次ページを表示
	空白ページを挿入	新しい空白ページを挿入。
	ファイルを開く	Notebookファイルを開く
	保存	現在のファイルを保存
	貼付け	クリップボードのコンテンツを貼付ける
	取り消し機能	最後の動作の取り消し
	やり直し機能	最後の動作のやり直し
	削除	選択されたオブジェクトの削除
	シェード（すだれ）機能	スクリーンシェードの追加
	全画面表示	全画面の表示
	2分割画面表示	2画面を並列分割表示

### 注意

同等のメニューアイテムを選択して上記の操作を実行することができます。

SMART Notebook ツールバーをカスタマイズするには

- 1.SMART Notebook ツールバーを右マウスクリック  
カスタマイズ・ツールバーダイアログボックスが表示されます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

アイコン	コマンド	動作
	キャプチャー機能	スクリーンキャプチャツールバーを開く
	SMART ドキュメントカメラ	SMART ドキュメントカメラからのイメージの挿入
	表の挿入	表の挿入
	選択	オブジェクトの選択
	フリーハンドペン機能	フリーハンドオブジェクトの記述
	ファンシーペン機能	ファンシーペン効果を使った記述
	イレーサー（消しゴム）機能	オブジェクトの消去
	直線描画機能	直線の描画
	図形描画機能	図形の描画
	図形認識機能	自由描画の図形化
	マジックペン	自由描画による図形のフェードや拡大およびスポットライト機能
	塗りつぶし機能	塗りつぶし効果の設定と適用
	文字入力機能	入力テキストのフォント選択
	プロパティ	プロパティタブの表示と変更
	ツールバーの移動	スクリーンの上下にツールバーを移動

以下の表はSMART Notebook ツールバーに追加することのできる各ツールバーのボタンの機能を表示したものです。

2. ボタンを加えるにはSMART Notebook ツールバーにボタンをドラッグします。
3. ボタンを取り除くにはカスタマイズツールバーダイアログボックスにボタンをドラッグします。
4. ボタンを再アレンジするにはツールバーの新しい位置にボタンをドラッグします。
5. **完了**をプレスします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

SMART Notebook ツールバーの初期設定に戻すには

1. SMART Notebook ツールバーを右マウスクリック  
ツールバーダイアログボックスが表示されます。
2. **初期状態に戻す**をプレスします。

アイコン	コマンド	動作
	プリント機能	現在のファイルを印刷
	拡大機能	異なるページ拡大機能の選択
	全リンクの表示	リンク付けされた各オブジェクトの設定表示
	質問挿入機能	SMART Response あるいは Senteo™ 質問の挿入.
	音量設定	コンピュータ音量の設定
	カンファレンスの挿入	Bridgit™ カンファレンスソフトウェアの起動、設定変更
	ようこそセンター	ようこそセンターを開く
	SMART キーボード	SMART キーボードの開始
	SMART レコーダー	SMART レコーダーの開始
	SMART ビデオプレイヤー	SMART ビデオプレイヤーの開始
	ページのピン留め機能	他ページ選択時に 現在のページをピン留めして連続表示 (2分割画面表示モード)
	カスタマイズ機能	頻度の高いツールを含むようツールバーをカスタマイズ

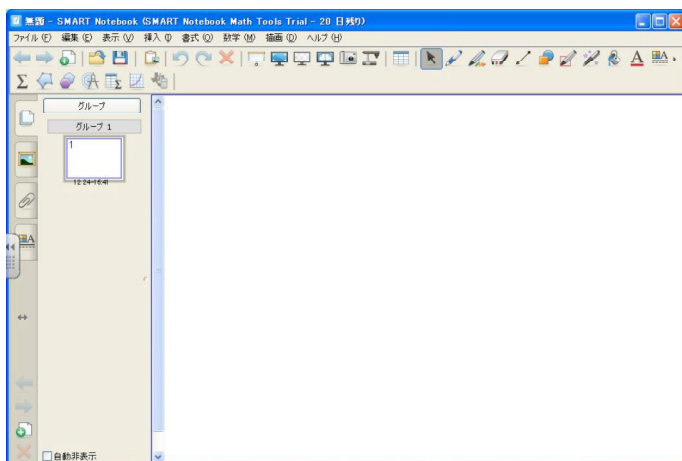
SMART Notebook ツールバーを移動するには

ツールバーをスクリーンの下部に移動するには**ツールバーの移動**をプレスします。

ツールバーをスクリーンの上部に移動するには**ツールバーの移動**を再度プレスします。

## 全画面ビューにファイル表示

全表示ビューでは SMART Notebookは作業エリアをスクリーンのフルサイズに拡張します。フルスクリーンツールバーを使って共通のコマンドにアクセスできます。



ファイルを全画面に表示するには

全画面 をプレス

全画面ツールバーを使うには

前のページを表示するには**前のページ**をプレス

次のページを表示するには**次のページ**をプレス

オプションメニューを開くには**オプション**をプレス

標準画面に戻って SMART Notebook ツールバーやタブを表示するには**全画面を解除する**をプレスします。

空白ページ、取り消し、選択、マジックやペンツールボタンを表示するのに**より多く/より少なく (More/Less)** ボタンをプレスします。これらを隠すには**より多く/より少なく** ボタンを再度プレスします。

## メニューアロー

オブジェクトを選ぶとメニューアローが上部右隅に表示されます。メニューアローをタッチしてコマンドメニューを表示します。同様にページソーターでページを選択したり、ギャラリーでアイテムを選択するとページやサムネイルの上部右隅にメニューアローが表示されるので、このメニューアローをプレスしてメニューコマンドにアクセスしてください。



## ページ拡大の選択

作業領域のズームアウトとズームインが可能です。

### ページ拡大を選択するには

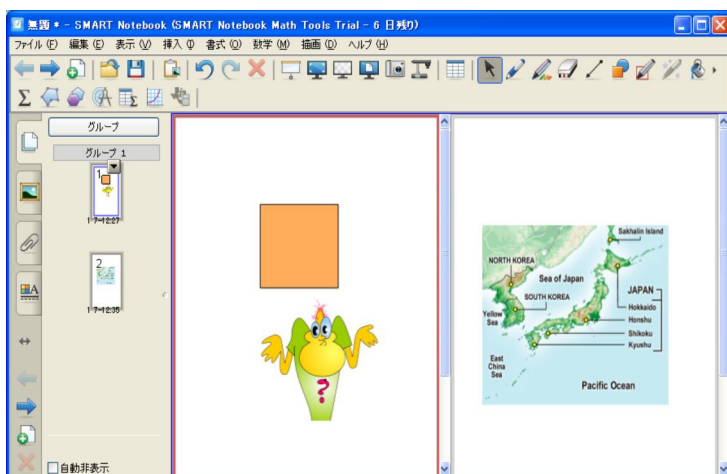
1. **表示 > ズーム**を選択します。
  2. 50% から300%の間で拡大レベルを選択します。
- または全体ページ を選択して全体ページをディスプレイに適合表示させます。  
またはページ幅 を選択してページ幅をディスプレイに適合表示させます。

## 2分割画面表示

2ページを並べて表示させることができます。単一ページと同様な方法で各ページ間で描画、ファイルのインポート、リンクの設定が可能です。2分割画面を表示する際、ページソーターで他のページを選択した際も一方のページをピン留めして引き続き表示させることができます。

### 2画面を表示するには

**2ページ表示**をタッチします。



### 単一画面を表示するには

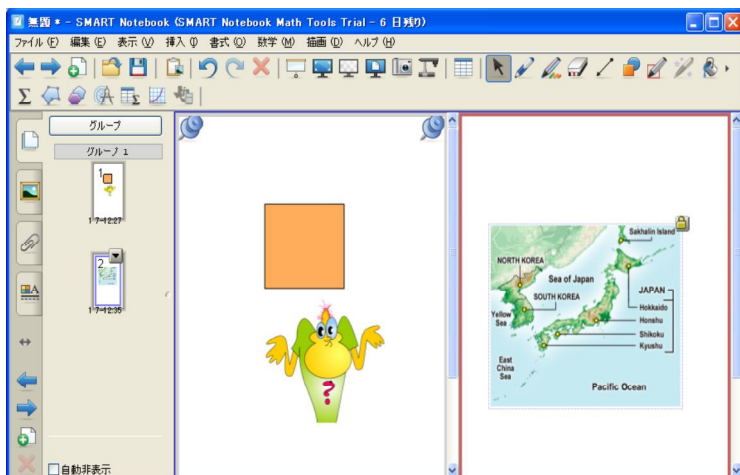
**1ページ表示**をタッチします。

### ページをピンで留めるには

1. 2ページ表示を表示させます。
2. 引き続き表示させたいページの後に直ぐにページを選択します。  
選択されたページは2画面の右画面に表示されます。  
継続して表示するページは2画面の左画面に表示されます。
3. **表示 > ズーム > ページ固定**を選択します。  
ピンアイコンがピン留めされたページの上隅に表示されます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)



### ページのピンを外すには

表示 > ズーム > ページ固定.の選択をクリアにします。

## リンク表示

ファイルコピー、シートカットあるいはWebページのリンク、サウンドファイルをページのオブジェクトに添付させることができます。リンク付けされたオブジェクトの回りにアニメーション化されたインディケーターを表示させることができます。

### ページを開いた時にリンクを表示するには

表示 > ページを開いた時にすべてのリンクを表示するを選択します。

ページを開く際にリンク付けされたオブジェクトの回りにアニメーション化されたインディケーターが表示されます。リンクをどのように定義するかによって各インディケーターがオブジェクト全体、あるいは下部左隅のアイコンを取り囲みます。インディケーターは数秒後に自動的に消えます。

### 注意

表示 > ページを開いた時に全てのリンクを表示する を再度選択するとページを開いた際にリンク表示を停止します。

### 現在のページにリンクを表示するには

表示 > すべてのリンクを表示する を選択します。

リンク付けされた各オブジェクトの回りにアニメーション化されたインディケーターが表示されます。リンクをどのように定義するかによって各インディケーターがオブジェクト全体か、下部左隅のアイコンを取り囲みます。インディケーターは数秒後に自動的に消えます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## notebook ファイルでの操作

他のプログラムと同様にファイルを開いたり、保存したり印刷することができます。これらのファイルはHTMLやPDFを含む多様なフォーマットで書き出しができ、e-mailメッセージに添付することができます。

### 新しいファイルを作成

SMART Notebook windowを開くと新しい Notebook ファイルが自動的に開きます。また何時でも新しいファイルを作成できます。

#### 新しいファイルを作成するには

1. **ファイル (F) > 新規作成 (N)**を選択
2. 変更を保存しないで作業をしているとダイアログボックスが表示され、現在のファイルを保存するように促されます。現在の内容を保存して作業を続けてください。

### ファイルを開く

SMART Notebook 10では:

- Notebook ファイル (SMART Notebook software 9.5, 9.7 および 10用標準フォーマット)
- xbk ファイル (SMART Notebook software 8, 9.0 and 9.1用標準フォーマット)で開くことができます。

#### ファイルを開くには

1. **開く**をプレス  
オープンダイアログボックスが表示
2. 開きたいファイルを参照し選択します。
3. **開く**をプレス

#### ヒント

ファイルメニューを選択することで最近開いたドキュメントを開くことができます。

### ファイルの保存

初期設定ではSMART Notebookはファイルを nNotebook フォーマットで保存します。Windows, Mac または Linuxのオペレーティングシステム上に SMART Notebookソフトウェアバージョン9.5以降がインストールされていればNotebook ファイルを開くことが可能です。また別のページを選択したり、設定時間を経過した際に自動的にファイルを保存することができます。

#### 新しいファイルを保存するには

1. **保存**をプレス  
保存のダイアログボックスが表示されます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

2. 新しいファイルを保存したいフォルダーを参照します。
3. **ファイル名ボックス**上のファイル用に名前を入力します。
4. **保存**をプレス
5. .xbk フォーマットで保存してオブジェクトやプロパティが.xbk フォーマットをサポートしていない場合はダイアログボックスは SMART Notebook が保存できない事を表示します。 **はい**をプレスします。

### **既存のファイルを保存するには**

**保存**をプレスします。

### **ファイルを別名で保存するには**

1. **ファイル> そのままで保存** をプレスを選択  
保存ウィザードが表示されます。
2. 新しいファイルを保存したいフォルダーを参照します。
3. **ファイル名ボックス**上のファイル用に名前を入力します。
4. **保存**をプレス
5. .xbk フォーマットで保存してオブジェクトやプロパティが.xbk フォーマットをサポートしていない場合はダイアログボックスは SMART Notebook が保存できない事を表示します。 **はい**をプレスします。

### **ファイルを自動的に保存するには**

1. **ファイル> 時間を指定して保存**を選択します。  
時間を指定して保存ウィザードが表示されます。
2. 異なるページを選択する際に自動的に保存する場合**別のページに移動する毎**を選択します。  
あるいは設定時間を経過した際に自動的にファイルを保存する場合 **1分, 5分, 15分**あるいは **30分**を選択します。
3. **次に**をプレス
4. Notebookドキュメントを選択
- 5 **次に**をプレス  
**名前をつけて保存**の画面が表示されます。
6. 新しいファイルを保存したいフォルダーを参照します。
7. **ファイル名ボックス**上のファイル用に名前を入力します。
8. **保存**をプレスします。

### **自動ファイル保存をキャンセルするには**

1. **ファイル> 時間を指定して保存**を選択  
時間を指定して保存ウィザードが表示されます。
2. **ドキュメントを自動保存しない**を選択
3. **次に**をプレス

## ファイルまたはページの印刷

Notebook ファイルからファイルやページを印刷できます。サムネイル、ハンドアウトあるいは全ページとして印刷できます。

### ファイルあるいはページを印刷するには

1. **ファイル > 印刷** を選択します。

**印刷ダイアログボックス** が表示されます。

2. **印刷対象** コラムのサムネイル、配布物、あるいは全ページを選択します。

3. 各プリントページにヘッダー、フッター、印刷日を加えたい場合はヘッダー、フッター及び印刷日ボックスに入力します。

4. 各プリントページにページ番号を加えたい場合はページ番号の表示チェックボックスを選択します。

5. サムネイルやハンドアウトを印刷したいときはレイアウトを選択します。

6. ファイルを印刷したいときは、すべて選択を選択します。

あるいは選択されたページを印刷する時はページを選択し印刷したいページ番号を入力します。個別ページはカンマである領域のページはハイフンで入力します。(例えば, 1,2,4-7).

7. **プリンター設定** タブをプレス

8. プリンター名や部数を表示するプリント設定を選択

9. **印刷** をプレス

## E-mail メッセージにファイルを添付

ファイルやファイルのPDFをe-mailメッセージに添付して送信することができます。

### e-mailメッセージにファイルを添付するには

**ファイル > 送信 > メールの受信者** を選択

既存のe-mail プログラムが起動し新しいメッセージを作成し現在のファイルをメッセージに添付します。

ファイルを保存していなかった場合、SMART Notebook は一時的に**無題.notebook** として保存するのでメッセージに一時的ファイルとして添付します。

### e-mailメッセージにPDFファイルを添付するには

**ファイル > 送信 > メールの受信者 (PDF)** を選択

既存のe-mail プログラムが起動し新しいメッセージを作成し現在のファイルのPDFをメッセージに添付します。ファイルを保存していなかった場合、SMART Notebook は一時的に**無題.pdf** として保存するのでメッセージに一時的ファイルとして添付します。

## Notebook ファイル用の初期アプリケーションの変更

SMART Notebookの他に notebook ファイルを開くことのできる SMART ソフトウェア製品がインストールされている場合 既存のアプリケーションをnotebook ファイル用に変更するようにソフトウェアを設定することができます。

Notebook ファイル用の既存のアプリケーションは、SMART Notebookに変更することができます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## 編集メニューで初期アプリケーションを変更するには

### 1. 編集 > 設定を選択

ダイアログボックスが表示されます。

### 2. デフォルトに設定をタッチ

3. Notebook ファイルを開いた時点でメッセージを表示したいが既存のアプリケーションがSMART Notebookでない場合、**Notebook ファイルのデフォルトプログラムではない場合、お知らせください。**のチェックボックスを選択します。

### 4.OK.をプレス

## notebook ファイルのページ操作

各 Notebook ファイルは一連のページで構成されていて各ページには独自のオブジェクトとプロパティおよび設定が含まれています。さらにフリーハンドのオブジェクトやグラフィックな図形、直線、テキスト、グラフィック、フラッシュコンテンツや表をページに加えることができます。ページソーターかメニューコマンドを使うことでページを表示したり、空白ページを挿入したり、現在のページのクローンを作成したり、ページを削除することができます。さらにページの背景を変えたり、ページの高さを拡張したり、ページ名を変えたりすることができます。プレゼンテーションに先立ってファイル内でページの順番を変えたりスクリーシェードをページに加えることも可能です。

## ページ表示

ページソーターを使ってページを表示することができます。SMART Notebook ツールバーやビューメニューで現在のファイルの前と次のページを表示させることができます。

### ページを表示するには

1. ページソーターが表示されていない場合、**ページソーター**をプレス

2. 表示させたいページのサムネイルをプレス

次のページを表示させるには **次のページ**をプレス

前のページを表示させるには **前のページ**をプレス

## ページの挿入

現在のファイルに空白ページを挿入することができます。

### SMART Notebook ツールバーを使ってページを挿入するには

**空白ページの挿入**をタッチ

現在のページの後の新しいページが表示されます。

## ページのクローン

空白ページを挿入する代わりにページのコピー（クローン）を挿入することができます。

### ページのクローンを作成するには

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

1. ページソーターが表示されていない場合、**ページソーター**をプレス
  2. 表示させたいページのサムネイルをプレス
  3. サムネイルのメニューアローをタッチして**クローンページ**を選択
- 現在のページの後のクローンページが表示されます

## ページの削除

ファイルからページを削除することができます。

### ページを削除するには

1. ページソーターが表示されていない場合、**ページソーター**をプレス
2. 削除したいページのサムネイルをプレス

### 注意

次のステップに進む前の削除したいページのサムネイルを注意深く選択してください。

3. サムネイルのメニューアローをタッチして**ページ削除**を選択

## ページの背景の変更

ページの背景色を様々に変更できます。

### 背景を単色に変更するには

1. **書式 > 背景**を選択

プロパティタブで塗りつぶし効果のオプションを表示します。

2. 背景色を単色に変える場合、**単色塗りつぶし**を選択し色を選びます。

背景色を2色のグラデーションに変える場合、**塗りつぶしグラデーション**を選択し2色を選びます。

背景色をパターンに変える場合、**パターンの塗りつぶし**を選択し前景と背景の2色とパターンを選びます。

背景色をイメージに変える場合、画像の塗りつぶしを選択します。

背景として利用したいイメージをブラウザから選択して**開く**をプレスします。

### 背景を取り除くには

1. **書式 > 背景**を選択

プロパティタブで塗りつぶし効果のオプションを表示します。

プロパティタブは塗りつぶし効果を表示します。

2. **単色塗りつぶし**を選択

3. カラープレートから**塗りつぶしなし**を選択します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## ファイル、グループ、ページにテーマを適用

事前に定義した背景やテーマを使ってページやグループ内のページ群やファイルに全てのページ群をカスタマイズできます。

### テーマを適用するには

1. ギャラリーが表示されていない場合、**ギャラリー**をタッチ
2. ギャラリーカテゴリリストのマイコンテンツを選択し作成したり、インポートした背景とテーマを閲覧します。  
あるいは  
**基本グラフィックス** または サンプルギャラリーを選択して 事前定義した背景とインストールしたテーマを閲覧します。  
ギャラリーは利用可能な背景とテーマのサムネイルを表示します。
3. **背景とテーマ**を選択
4. 適用するテーマのサムネイルをプレス
5. サムネイルにメニューアローをタッチして**Notebookに挿入**を選択  
ダイアログボックスが表示されます。
6. テーマをファイルの全てのページに適用する場合、**全てのページにテーマを挿入**を選択し**OK**をプレスします。  
あるいはテーマを現在のグループの全てのページに適用する場合、**現在のグループの全てのページにテーマを挿入**を選択し**OK**をプレスします。  
あるいはテーマを現在のページに適用する場合、**現在のページのみにテーマを挿入**を選択し**OK**をプレスします。

### テーマを取り除くには

1. 作業エリアで右クリック（プレス）します。
2. **テーマの削除**を選択します。

### 注意

適応する全てのページからテーマを取り除きます。

## ページの拡大

ページの下部に余裕が欲しいときにページ幅に影響を与えないで垂直方向にページを拡大できます。

ページを拡大するには

1. 全ページ表示でページを表示している場合、異なるページの拡大を選択します。
2. ページの底部にある**ページの拡大**をタッチします。

## ページの名前の変更

ページを挿入したときに SMART Notebookは自動的にこのページに作成日時とともに名前をつけますが名前は変更可能です。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)



### ページの名前を変更するには

1. ページソーターが表示されていない場合は**ページソーター**をプレスします。
2. 名前を変更したいページのサムネイルをプレスします。
3. サムネイルのメニューアローをタッチし**ページの名前変更**をプレスします。
4. ページ用の新しい名前を入力します。
5. スクリーンの他の部分をプレスします。

### ページの再アレンジ

ファイルのページの順番を変更できます。

### ページを再アレンジするには

1. ページソーターが表示されていない場合は**ページソーター**をプレスします。
2. 移動させたいページのサムネイルをプレスします。  
サムネイルの回りに青の境界線が表示されます。
3. ページソーターでサムネイルをドラッグして新しい位置までドラッグします。  
青線がページの新しい位置を示します。
4. サムネイルを解放します。

### ページにスクリーンシェードを追加

プレゼン中にゆっくりと情報を隠したり、現出させたりするためにシェードスクリーンを使うことができます。  
スクリーンシェードでページを隠して保存すると次回にファイルを開いた際、スクリーンシェードが表示されます。

### ページにスクリーンシェードを追加するには

スクリーンシェードをタッチします。スクリーンシェードがページを覆う形で表示されます。

### ページの一部を見せるようにするには

スクリーンシェードの端にある小さな円形がハンドルをリサイズします。  
リサイズハンドルをタッチしてドラッグしてページの一部を現出させます。

### ページからスクリーンシェードを取り除くには

スクリーンシェードをタッチあるいはスクリーンシェードの上部右隅の**終了**ボタンをプレス

## オブジェクトの作成

ページにフリーハンドや図形、線、テキスト、グラフィックまたはフラッシュコンテンツを含むオブジェクトを挿入することができます。

## オブジェクトの描画

オブジェクトを描画する最も簡単な方法はペントレイペンを使うことです。(ホワイトボード)あるいは付属ペンとペンツールボタンを用います。(ペンディスプレイ)。またペンツールバーボタンを使ってフリーハンドのオブジェクトを作成することも可能です。

### ヒント

- 複数のオブジェクトを描画する場合、SMART Notebook はオブジェクトを単一のオブジェクトとして扱えるように自動的にグループ化します。文字列を書く場合、SMART Notebook は個々の文字を単一文として扱えるようにグループ化します。

同一線上に文字列を書く場合でグループ化したくない場合は文字間にスペースを残すか、異なるペンを使うか、あるいは次の文を書き出す前に一旦ペンをペントレイに戻してから書き出してください。(ホワイトボードのみ)

- 対角線を記述したい場合はストレートペンで書いてから回転させてください
  - 小文字を記述したい場合は、大文字で書いた後サイズを減少させてください。
- デジタルインクは太さや色や線のスタイル等のカスタマイズが可能です。

ペンツールを使ってフリーハンドでオブジェクトを作成するには

1. ペンをタッチして利用可能な線種を選択します。
2. スクリーン上で描画することでフリーハンドのオブジェクトを作成します。

## ファンシーペンを使ったオブジェクトの描画

ページにフリーハンドのオブジェクトを描画できます。プレゼンテーションにカラフルな要素を加えたい場合はファンシーペンツールを使ってフリーハンドのオブジェクトを描画します。ファンシーペンはレインボーカラーやスマイルフェース等の描画を可能にします。

### ファンシーペンツールを使ってフリーハンドでオブジェクトを作成するには

1. ファンシーペンをタッチして利用可能な線種を選択します。
2. スクリーン上に描画することでフリーハンドオブジェクトを作成します。

## 図形の作成

図形ツールを使って幾何学図形やチェックマーク等の多様な図形を作成できます。ページに図形を加えた後にプロパティを変更します。図形のアウトラインの色、塗りつぶし色、線の太さ、スタイル、透明度をカスタマイズしてページに加えます。

### ページに図形を追加するには

1. 図形をタッチして利用可能な図形を選択します。
2. 適当な位置に図形を置いて適切な大きさまでドラッグして図形を作成します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## ヒント

図形を描画する際にSHIFTキーをタッチしたままにすると正確な円や四角や三角等が描画できます。

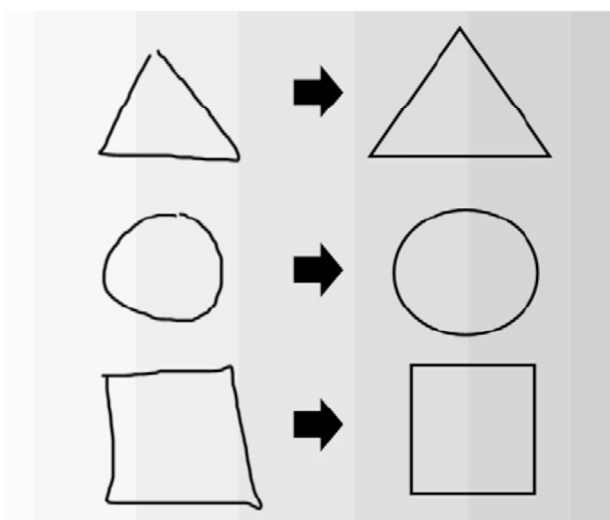
## 図形の描画

円や長円形、正四角形、長方形、三角形、弓を描画する際に図形認識ツールを使うことができます。

### 図形認識ツールを使って図形を描画するには

1. 図形認識 をタッチ
2. スクリーン上で図形を描画

SMART Notebook が円や長円形、正四角形、長方形、三角形、弓と認識した場合、この図形がページに追加されます。



## 直線の描画

ラインツールを使って直線を引きます。ページに線を加えた後にプロパティを変更します。線の色、線の太さ、スタイルをカスタマイズしてページに加えます。

### 直線を描画するには

1. 線をタッチして利用可能な線種のスタイルを選択します。
2. 開始点から終点にする地点までドラッグして直線を引きます。
3. 線をカスタマイズするには線を選択してプロパティを編集します。

## テキスト入力

ページにテキストを入力してフォントスタイルやサイズ、色をカスタマイズします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## ページにテキストを入力するには

1. キーボードが使えない場合はSMART キーボードを開きます。
2. テキストをタッチして利用可能なフォントスタイルを選択します。

### ヒント

利用可能なフォントスタイルの右にあるXシンボルをプレスします。

3. テキストの書き始めたい場所をプレスします。

フォントのツールバーとテキストオブジェクトが表示されます。

4. フォントツールバーを使ってフォントスタイル、サイズ、色のプロパティを変更します。

5. テキストを入力します。

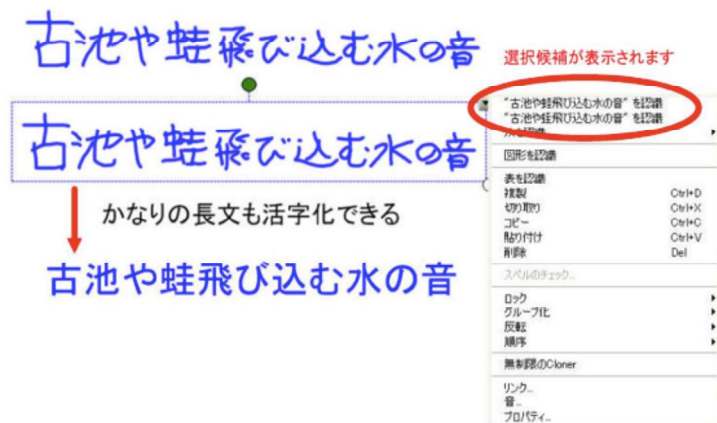
6. 入力が終わったらテキストオブジェクトの外側をタッチします。

## 手書き文字の変換

Notebook ソフトウェアで手書き文字をテキストオブジェクトに変換します。オブジェクトの右上角をタッチし正しい変換候補を選択します。

### 注意

- Notebook 10.6では、インストール時に手書き文字認識ソフトをインストールするかどうか確認されるので、手書き認識言語として日本語手書き文字認識を追加します。
- ファンシーペンを用いて手書きした場合は変換の対象にありません。



手書き文字をテキストに変換するには

1. スクリーン上でテキストを手書きします。

### ヒント

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

きちんとしたプリント体で水平に書いてください。SMART Notebook が傾斜した文字や筆記体を認識しても、一時的な場合があります。

2. テキストを選択します。

SMART Notebookの手書き認識は辞書を使って書かれた文字と最も良く似ている文字を認識します。

3. テキストオブジェクトのメニューアローをタッチします。

メニューが表示され認識エンジンによって合致した文字をリストします。

4. 異なる言語で認識させたい場合は**そのまま認識**を選択しリストのその他の言語を選択します。

SMART Notebookは選択された言語での文字を含むように合致リストを更新します。

#### **注意**

手書き入力言語を変更する場合。SMART Notebook ソフトウェアやオペレーティングシステムの設定言語を変更する必要はありません。

5. リストから文字を選択します。

選択された文字がページに表示されます。

## 数学用シンボルの挿入

フォントツールバーを使ってページに多様な数学・科学用シンボルを挿入できます。

#### **注意**

数学用シンボルは文字記号のみです。数学的な操作はできません。

#### **シンボルを挿入するには**

1. ページにテキストを入力します。

フォントツールバーが表示されます。

2. フォントツールバーで数学用シンボルをタッチします。

ツールバーは23のシンボルを表示するよう拡張されています。シンボルの各グループはシンボルカテゴリーを示しています。

3. カテゴリーをタッチ

シンボルリストが表示されます。

4. テキストに追加したいシンボルをタッチ

テキストオブジェクトにシンボルが表示されます。

## グラフィックファイルの挿入

グラフィックをページに挿入できます。

SMART Notebook は .bmp, .jpg, .png, .tiff と .wmf フォーマットをサポートしています。

#### **グラフィックファイルを挿入するには**

1. **挿入 > 図形ファイル**を選択します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

図形ファイルの挿入ダイアログボックスが表示されます。

2. 挿入したい図形を参照して選択、**開く** をプレスします。

ページの上左隅に図形が表示されます。2つ以上の図形を挿入する際は単一ページ上に重なって表示されます。

## スキャンしたイメージの挿入

コンピュータとスキャナーを接続している場合、ページにスキャンからの図を挿入することができます。

### 注意

SMART Notebook ソフトウェアにスキャンさせる前にコンピュータにスキャナーのドライバーとソフトウェアをインストールしてください。

### スキャナーから画像を挿入するには

1. **挿入 > スキャナーからの画像** を選択

スキャンされた図のダイアログが表示されます。

2. リストからスキャナーを選択します。

3. **スキャン** をタッチします。

4. インストラクションに従ってスキャンを始めます。

## SMART ドキュメントカメラからイメージを挿入する

SMART ドキュメントカメラからイメージをページに挿入することができます。

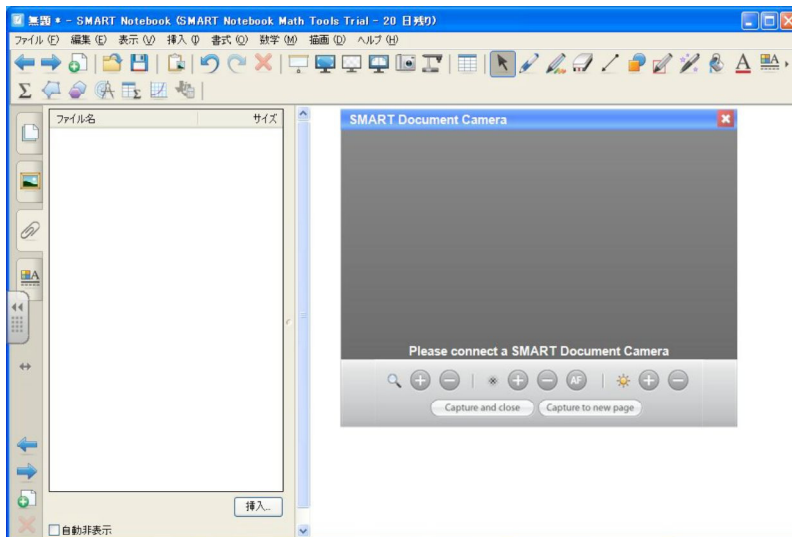
### SMART ドキュメントカメラからイメージを挿入するには

1. **挿入 > SMART ドキュメントカメラからの写真** を選択

SMART ドキュメントカメラ・ウィザードが表示されます。

2. イメージの拡大率を変えるには拡大シンボルの右側にある+あるいは-ボタンをプレスします。

3. イメージの焦点を変えるには焦点シンボルの右側にある+あるいは-ボタンをプレスします。



### 注意

またAFをタッチして自動的にイメージをフォーカスします。

4 イメージの明るさを変更するには一番右のブライトネスボタンの+か-をプレスします。 .

5 **Capture and Close** をプレスしてイメージを現在のページに挿入します。

あるいは

6. **Capture to new page** をプレスしてイメージを新しいページに挿入します。

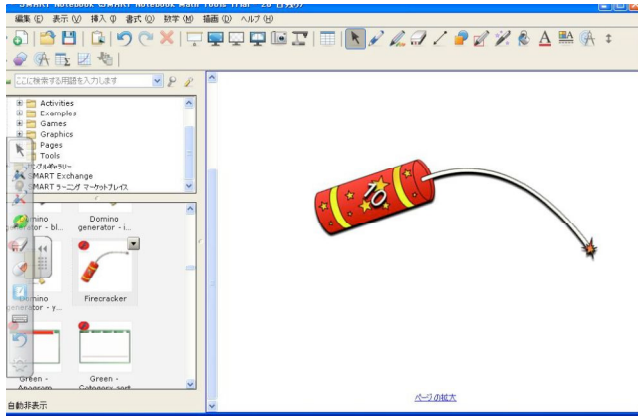
## フラッシュファイルをページに挿入する

フラッシュファイルをページに挿入が可能です。ページに挿入することでWeb ブラウザで操作するのと同様に操作する事が可能になります。プレゼンテーション時に実行を制御するようオブジェクトもメニューアローを使うことができます。

### 注意

- ページ内のフラッシュファイルは自動実行形でなければなりません。
- 他の .swf ファイルをロードしたり依存するファイルは機能しません。
- 画像と違いWebブラウザからフラッシュコンテンツをドラッグしてページに貼付けることはできません。
- フラッシュプレイヤーがインストールされていない場合、SMART Notebookはどの時点でフラッシュをページに加えるか勧告します。
- [www.adobe.com](http://www.adobe.com) をアクセスしてフラッシュプレイヤーをインストールするのであればインターネットエクスプローラを使ってインストールしなければなりません。

他のブラウザを使っている場合はフラッシュのコンテンツはSMART Notebook上で機能しません。



### フラッシュファイルを.swf ファイルからページに挿入するには

1. **挿入**を選択>フラッシュファイル.

フラッシュファイル挿入ダイアログボックスが表示

2. ページに挿入したい.swf ファイルをブラウジングして選択
3. **開く**をプレス

コンテンツはページの左上部に表示されます。

### フラッシュビデオファイルをページに挿入する

ページのオブジェクトにビデオファイルを添付できます。

#### ページのオブジェクトにビデオファイルを添付するには

1. オブジェクトを選択
2. **挿入**>フラッシュビデオファイルをプレス

ビデオファイル挿入ダイアログボックスが表示されます。

3. ページに挿入したいビデオファイルを参照し選択
4. **開く**をプレス

### ページにSMART Response またはSenteo 質問を挿入する

SMART Response (旧名称 Senteo) インタラクティブツールは教育現場を強化するようにデザインされています。学生に質問をしてその結果を集めることができます。SMART Notebookを使ってSMART Responseソフトウェアの質問を作成することができます。

#### 注意

標準のSMART Notebookソフトウェアを使って質問セットを作成することができますが質問セットを実行するのにSMART Responseソフトウェアをインストールしなければなりません。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)



## ページにSMART Responseタイトルページを挿入するには

1. 新しいページを作成 あるいは既存の空白ページを表示

2. **挿入 > SMART Responseタイトルページ**を選択

タイトルページ・ダイアログボックスが表示されます。

3. **タイトル**、科目および**トピック**を入力

### 注意

キーボードが簡単に使えない場合、SMART キーボードを使ってタイトルを入力します。

4. **アセスメントタイプ**を選択

あるいは

**タイプ**リストから**カスタム**を選択、タイプを入力して、**OK**をプレス、**追加**をプレス

## ページにSMART Response質問を挿入するには

1. **挿入 > SMART Response 質問**を選択

質問挿入のダイアログボックスが表示されます。

2. 挿入したい質問のタイプを選択

3. **次に**をプレス

4. 質問を入力

5. **次に**をプレス

6. 質問の形式が「はい」か「いいえ」あるいは「真」か「偽」、であれば正しい答えを選びます。

質問の形式が選択肢問題の場合、リストから選択番号を選び正解か不正解を入力し、**次に**をタッチし正しい答えを選びます。あるいは質問の形式が数、分数、少数の場合正しい答えを入力します。また質問の形式が複数の答えの場合、リストから選択番号を選び正解か不正解を入力し、**次に**をタッチし正しい答えを選びます。

7. 結果を印刷した場合に注意書きを表示したい場合、**ノート**ボックスにこれらを入力します。他の質問を作成したい場合、**他の質問を挿入**をタッチしステップ2からステップ6を繰り返します。他の質問を作成しない場合、完了をタッチします。

## オブジェクトにリンクを追加する

Web ページ、ページ、ファイルの他のページ、コンピュータのファイルや添付ファイルにオブジェクトをリンクすることができます。添付はファイルのコピーやショートカットあるいは添付タブに追加されたWebページへのリンクです。

### オブジェクトにリンクを追加するには

1. オブジェクトを選択

2. オブジェクトのメニューアローをタッチし**リンク**を選択します。

挿入リンクダイアログボックスが表示されます。

3. Webページリンクを追加するには **Web ページ**をタッチし**アドレス**ボックスにWebアドレスを入力します。

あるいはファイルの他のページにリンクを追加するには **このファイル内のページ**をプレスし**ページ選択**エリアのオプションを選択します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

コンピュータのファイルにリンクを追加するには **このコンピュータ上のファイル**をプレスし**ファイル**ボックスにファイルの場所と名前を入力します。**ファイル内のコピー**を選択しNotebookファイルのコピーを添付するか、**ファイルへのシートカット**を選択しページのショートカットを挿入します。

あるいは添付にリンクを追加するには、**現在の添付**ファイル をタッチしてリストの添付を選択します。

4. アイコンをタッチしてリンクを開く場合は、**コーナーアイコン**を選択します。またはオブジェクトのどこでもタッチしてリンクを開く場合は**オブジェクト**を選択します。

5. **OK**をプレス

**アイコン**の角を選択した場合はオブジェクトの左下部隅に以下のアイコンのひとつが表示されます。

- Web ページへのリンク

- ファイルの他のページへのリンク

- コンピュータへのファイルへのリンク

### オブジェクトからリンクを外すには

1. オブジェクトを選択

2. オブジェクトのメニューアローをタッチし**リンク**を選択します。

挿入リンクダイアログボックスが表示されます。

3, **リンクの削除**をプレス

## サウンドファイルをページに追加する

サウンドファイルをオブジェクトに添付することができます。オブジェクト自身かオブジェクトの隅のアイコンをタッチすることでサウンドを実行します。

### オブジェクトにサウンドファイルを追加するには

1. オブジェクトを選択します。

2. オブジェクトメニューアローをタッチしてサウンドを選択  
ダイアログボックスが表示されます。

3. **参照**をプレス

ダイアログボックスが表示されます。

4. **サウンドファイルを参照**を選択し**開く**をプレス

5. オブジェクトの下部左隅のアイコンをタッチしてサウンドファイルを実行したい場合は **アイコンの角**を選択します。

あるいはオブジェクトのどこでもタッチしてサウンドファイルを実行したい場合は **オブジェクト**を選択します

6. **OK**をプレスします。

### オブジェクトからサウンドファイルを取り除くには

1. オブジェクトを選択します。

2. オブジェクトメニューアローをタッチしてサウンドを選択  
ダイアログボックスが表示されます。

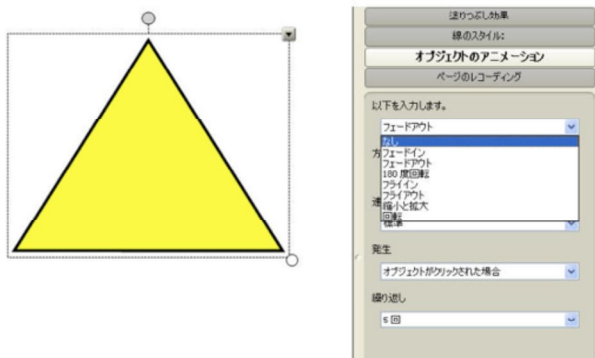
3. サウンドを削除をタッチ

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## ページ上でオブジェクトをアニメーション化する

サイドからページに飛び込んできたり、スピンしたり、フェードイン、シュリンク等のようにアニメーション効果を設定できます。ページを開くかオブジェクトをタッチすることでアニメーションを実行するよう設定する事ができます。



### オブジェクトをアニメーション化するのは

1. オブジェクトを選択する
2. プロパティタブが表示されていない場合はプロパティをプレス
3. オブジェクトのアニメーションをプレス
4. タイプ、方向、速さ、発生および繰り返しリストでオプションを選択

## ページ上で取り消しおよびやり直しをおこなう

ページ上でオブジェクトを作成 編集 操作する時 以前の動作やコマンドの効果をやり直すことができます。

### 最後の操作を取り消すには

**取り消し** をプレス

#### 注意

- ・無制限の動作を取り消す事ができます。
- ・現在のページのみ動作を取り消すことができます。

取り消しコマンドで取り消した操作をやり直すには

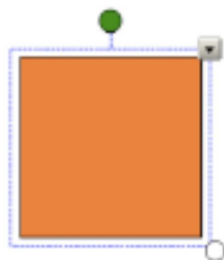
**やり直し** をプレス

#### 注意

現在のページのみ動作をやり直すことができます。

## オブジェクトの選択

オブジェクトを操作あるいは編集する前にオブジェクトを選択します。個々のオブジェクトや複数のオブジェクトあるいはページ上に全てのオブジェクトを選択できます。オブジェクトを選択するとその回りに選択用の四角形が表示されます。



オブジェクトの下部右隅の白い円はサイズ変更用ハンドルです。

オブジェクトの上の緑の円は回転用ハンドルです。

オブジェクトの上部右隅の下向き矢印はメニューアローです。

### オブジェクトを選択するには

1. **選択**をプレス
2. 選択したいオブジェクトをプレス

オブジェクトの回りに選択用の四角形が表示されます。

#### 注意

オブジェクトをタッチしてメニューアローの代わりにロックシンボルが表示されたら、そのオブジェクトはロックされたことになります。ロックにタイプによっては操作する前にロックを外さなければなりません。

### 複数のオブジェクトを選択するには

1. **選択**をタッチ
2. スクリーンをタッチして四角形がオブジェクトを囲い込むまでドラッグします。

あるいはCTRLキーを押してホールドし選択したいオブジェクトを選択します。選択用の四角形が表示されます。

#### 注意

複数のオブジェクトの回りに四角形を描画してそのうちの数個がロックされている場合、ロックされていないオブジェクトのみが選択されます。

### ページ上の全てのオブジェクトを選択するには

**編集 > すべて選択**を選択します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

ページの全てのオブジェクトを囲むように選択用の四角形が表示されます。

#### 注意

そのうちの数個がロックされている場合、ロックされていないオブジェクトのみが選択されます。

### ページ上の全てのロックされたオブジェクトを選択するには

**編集 > すべてのロックされたノート選択** を選択

ページの全てのオブジェクトを囲むように選択用の四角形が表示されます。

## ページ上のオブジェクトの操作

ページ上のオブジェクトを選択し移動、リサイズ、回転等多様に操作できます。

### ページ上でオブジェクトをグループ化

グループを1つのオブジェクトとして移動、回転、サイズ変更等の作業できます。同じページ領域内に書き入れた単語はグループとしてまとめられるため、単語、文および段落はばらばらになりません。

#### オブジェクトをグループ化するには

1. オブジェクトを選択
  2. 選択されたオブジェクトのメニューアローをプレスし**グルーピング > グループ化**を選択
- グループ化を解除するには
1. グループを選択
  2. 選択されたグループのメニューアローをタッチし**グルーピング > グループ化を解除**を選択

### ページ上に配置されたオブジェクトをロックする

修正や移動や回転等を防ぐようにオブジェクトにロックをかけることができます。ロックはいつでも外すことができます。また修正はできないが、移動のみ、あるいは移動と回転のみができるようにロックをかけることもできます。

#### 注意

ロックされたオブジェクトをタッチするとオブジェクトのメニューアローの代わりにロックアイコンが表示されます。

#### 配置されたオブジェクトをロックするには

1. オブジェクトを選択します。
  2. オブジェクトのメニューアローをタッチし **ロック > 位置をロック(L)**を選択します。
- ロックを外すまで移動、回転、修正の操作はできません

#### 移動が可能ないようにオブジェクトをロックする

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

1. オブジェクトを選択します。
  2. オブジェクトのメニューアローをタッチし **ロック > 移動を許可(A)**を選択します。
- オブジェクトの移動は可能ですがロックを外すまで回転、修正の操作はできません

#### **移動と回転が可能なようにオブジェクトをロックするには**

1. オブジェクトを選択します。
  2. オブジェクトのメニューアローをタッチし **ロック > 移動および回転を許可(M)**を選択します。
- オブジェクトの移動と回転は可能ですがロックを外すまで修正の操作はできません

#### **オブジェクトのロックを解除するには**

1. オブジェクトを選択します。
2. オブジェクトのロックアイコンをタッチし**ロックを解除(U)**を選択します。

### **オブジェクトの移動**

オブジェクトをページ内のほかの位置にあるいは他のページに移動させることができます。

#### **ページ上でオブジェクトを移動するには**

1. オブジェクトを選択します。
2. オブジェクトをページの新しい位置までドラッグします。

#### **他のページ上にオブジェクトを移動するには**

1. ページソーターが表示されていないならばページソーターをタッチ
2. オブジェクトを移動したいページが見つからなければページソーター内でサムネイルを見つけるまでスクロールします。
3. オブジェクトを選択します。
4. オブジェクトをページソーターの移動させたいページのサムネイルまで頭越しにドラッグします。

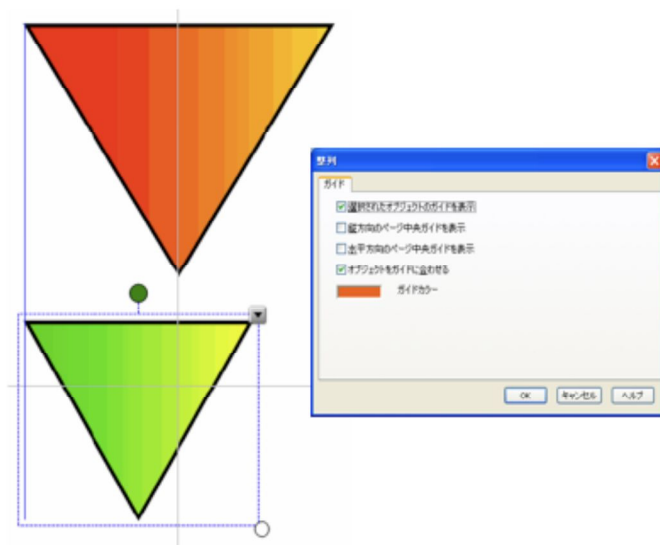
### **ページ上のオブジェクトを整列させる**

Notebook のページでオブジェクトを垂直あるいは水平に整列させます。ガイドラインに従って自動的にオブジェクトを整列させることもできます。

#### **ガイドラインを表示するには**

1. **フォーマット > 整列**を選択
- ダイアログボックスが表示されます。

2. オブジェクトを他のオブジェクトと整列させるように移動させる際ガイドラインを表示させるには**選択されたオブジェクトのガイドを表示**を選択します。
3. オブジェクトをページの水平な中心線と整列させるように移動させる際ガイドラインを表示させるには**縦方向のページ中央ガイドを表示**を選択します。
4. オブジェクトをページの垂直な中心線と整列させるように移動させる際ガイドラインを表示させるには**水平方向のページ中央ガイドを表示**を選択します。
5. ページ内でオブジェクトを移動させる際 自動的にガイドラインに整列させるには**オブジェクトをガイドに合わせる**を選択します。
6. ガイドラインの色を変更させるには, ガイドカラーの左にあるカラーバーをタッチし色を選択します。
7. **OK**をプレス



## オブジェクトのサイズ変更

ページ内のオブジェクトのサイズを変更可能です。

### オブジェクトのサイズを変更するには

1. オブジェクトを選択
2. オブジェクトのリサイズハンドル（白い円）をタッチしサイズに増大あるいは減少の方向にタッチします。

## オブジェクトの回転

ページ内のオブジェクトを回転させることができます。

オブジェクトを回転させるには

1. オブジェクトを選択

オブジェクトの回りに選択用の長方形が表示されます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

2. オブジェクトのリサイズハンドル（白い円）をタッチし回転したい方向にドラッグします。

## オブジェクトの反転

ページ内のオブジェクトを反転させることができます。

### オブジェクトを反転させるには

1. オブジェクトを選択

オブジェクトの回りに選択用の長方形が表示されます。

2. オブジェクトのメニューアローをタッチし**反転 > 上/下**または**反転 左/右**を選択します。

## スタックに重なったオブジェクトの再アレンジ

ページ内のオブジェクトは重なった場合、重なり順番を再アレンジできます。（どのオブジェクトを他のオブジェクトの前面に表示することができます。）

### スタックの前面にオブジェクトを移動するには

1. オブジェクトを選択

2. オブジェクトのメニューアローをタッチし**順序 > 前面**に移動を選択します。

### スタックの背面にオブジェクトを移動するには

1. オブジェクトを選択

2. オブジェクトのメニューアローをタッチし**順序 > 背面**に移動を選択します。

### スタックの最前面にオブジェクトを移動するには

1. オブジェクトを選択

2. オブジェクトのメニューアローをタッチし**順序 > 最前面**に移動を選択します。

### スタックの最背面にオブジェクトを移動するには

1. オブジェクトを選択

2. オブジェクトのメニューアローをタッチし**順序 > 最背面**に移動を選択します。

## ページ上のオブジェクトの削除

ページ内でオブジェクトを選択して切り取り、貼付け、クローン、イレース、削除等、多様な方法で編集することができます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)



## オブジェクトの切り取りおよび貼付け

テキスト、イメージ、線、図形を含むオブジェクトを切り取り貼付けることができます。

### オブジェクトを切り取り貼付けるには

1. 切り取りたいオブジェクトを選択します。
2. オブジェクトのメニューアローをタッチし **切り取り** を選択します。
3. オブジェクトを異なるページに貼付けたい場合、ページを表示します。
4. **貼付け** をプレス

## オブジェクトのコピーと貼付け

テキスト、イメージ、線、図形を含むオブジェクトをコピーし貼付けることができます。

### オブジェクトをコピーおよび貼付けるには

1. コピーしたいオブジェクトを選択します。
2. オブジェクトのメニューアローをタッチし **コピー** を選択します。
3. オブジェクトを異なるページに貼付けたい場合、ページを表示します。
4. **ペースト** をプレス

## オブジェクトのクローン

**クローン** コマンドを使ってオブジェクトの複製を生成することができます。

あるいは**無限クローン** コマンドを使ってオブジェクトの無限複製を生成することができます。

### オブジェクトのクローンを作るには

1. クローンを作りたいオブジェクトを選択します。
  2. オブジェクトのメニューアローをタッチし **クローン** を選択します。
- ページに複製オブジェクトが表示されます。

### オブジェクトの無限クローンを作るには

1. クローンを作りたいオブジェクトを選択します。
  2. オブジェクトのメニューアローをタッチし **無限クローン** を選択します。
  3. オブジェクトを選択します。
- オブジェクトのメニューアローの代わりに無限シンボルが表示されます。
4. オブジェクトをページの他の位置にドラッグします。
  5. ステップ4を必要なだけ繰り返します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

6. オブジェクトのクローンが終了した時点でオリジナルのオブジェクトを選択します。
7. 無限シンボルをタッチし **無限クローン** を選択します。

## オブジェクトのプロパティの変更

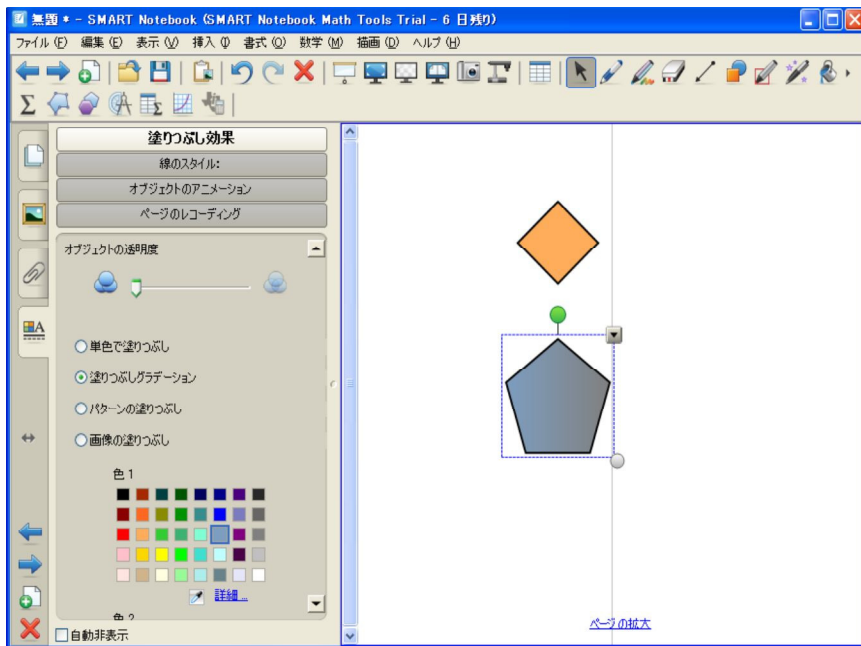
ページのオブジェクトを選択しプロパティを変更することができます。変更できるプロパティはオブジェクトに依存します。

### 注意

プロパティタブは選択されたオブジェクトのみのオプションを表示します。  
オブジェクトのタイプによっては塗りつぶし効果が利用できません。

### オブジェクトのプロパティを変更するには

1. オブジェクトを選択します。
2. プロパティタブが表示されていない場合、プロパティをプレスします。
3. **塗りつぶし効果** をプレスします。
4. オブジェクトの透明度を変化させるにはスライドを移動させます。
5. オブジェクトの塗りつぶしを単色に変更するには **単色の塗りつぶし** を選択して色を選択します。  
オブジェクトの塗りつぶしを2色のグラデーションに変更するには **グラデーションの塗りつぶし** を選択して2色を選択します。  
オブジェクトの塗りつぶしをパターンに変更するには **パターンの塗りつぶし** を選択して2色とパターンを選択します。  
オブジェクトの塗りつぶしをイメージに変更するには **イメージの塗りつぶし** を選択してイメージをブラウザし背景として使いたいイメージを選択します。2色とパターンを選択し **開く** をプレスします。
6. オブジェクトの線種を変更するには **線のスタイル** をタッチして色と太さおよびスタイルを選択します。
7. オブジェクトのアニメーション効果を変更するには **オブジェクトアニメーション** をプレスしてタイプ、方向、速度、発生、リピートリストのオプションを選択します。



## オブジェクトプロパティの適用

ページ内のオブジェクトを選択してプロパティを変更する代わりに塗りつぶし効果を設定してオブジェクトに適用させることもできます。

### オブジェクトにプロパティを適用するには

1. プロパティタブが表示されていない場合、プロパティをプレスします。
2. **塗りつぶし効果**をプレスします。
3. **塗りつぶし**をプレスします。
4. 単色にするには **単色の塗りつぶし**、を選択して色を選択します。  
2色のグラデーションにするには **グラデーションの塗りつぶし**を選択して2色を選択します。

パターンにするには **パターンの塗りつぶし**、を選択して2色とパターンを選択します。

イメージにするには **イメージの塗りつぶし**、を選択してイメージを参照し背景として使いたいイメージを選択し開くをプレスします。

5. オブジェクトに塗りつぶしを適用するのにオブジェクトをプレスします

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## グラフィックの透明部分の作成

グラフィックファイルをページに挿入する場合グラフィック内に透明部分を作ることができます。これはイメージの背景を取り除くのには有効です。グラフィック内に透明部分にどの色も作成することができます。

### グラフィックの一部を透明化するには

1. グラフィックを選択
2. オブジェクトのメニューアローをプレスしイメージの透明度の設定を選択します。  
ダイアログが表示されます。
3. 部分を透明にするためにグラフィックの一部のエリアをプレスします。
4. **OK**をプレス

## ページのテキストの編集

テキストオブジェクトのフォーマットと編集あるいは変更ができます。

### ヒント

垂直や傾いているオブジェクトをダブルプレスすると自動的に水平の位置に回転させることができます。テキストの編集を終えてテキストオブジェクトの外側をプレスするとテキストはオリジナルの角度に戻って配置されます。

### テキストを編集するには

1. 編集したいテキストオブジェクトをダブルプレス  
フォントツールバーが表示されます。
2. テキストを変更したい場合は新しいテキストを入力します。
3. フォントスタイル、サイズ、色を含めた形式を変更するにはフォントツールバーのオプションを使います。
4. テキスト入力が終わればテキストオブジェクトの外側をプレスします。

## テキストオブジェクトのスペルチェック

ページにテキストを入力する場合スペルをチェックすることができます。

### スペルをチェックするには

1. オブジェクトを選択します。
2. オブジェクトのメニューアローをタッチし**スペルチェック**を選択します。
3. SMART Notebookがミススペルを見つけた場合、スペルチェックダイアログボックスが表示されます。  
このダイアログボックスがミススペルを表示し選択肢を提案します。  
- 現在のスペルを維持するには **一旦無視**をプレスします。  
- 置き換えるにはリストの中から候補を選んで**変更**をプレスします。  
ダイアログボックスが表示されファイルのその他の部分のチェックを行なうか聞いてきます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

4. ファイルの残りをチェックする場合は **はい** をプレスします。

あるいはファイルの残りをチェックしないでスペルチェックダイアログボックスをクローズするには **いいえ** をプレスします。

## ページから削除

イレーサー（ホワイトボード）やイレーサーペンツールボタン（ペンディスプレイ）を使ってスクリーンからデジタルインクを消去することができます。ただしnotebook ファイルのページからイレーサーする場合はイレーサーペンツールボタンを使ってオブジェクトも消去することができます。

### 注意

ある種類のオブジェクトは消す事ができません。これらのオブジェクトを取り除くには削除する必要があります。

### ページからデジタルインクを削除するには

1. **イレーサー** をタッチし利用可能なイレーサーの種類を選びます。
2. 指かイレーサーを使ってスクリーンからデジタルインクを消去します。（ホワイトボード）、あるいは付属のペン（ペンディスプレイ）。

## ページからオブジェクトを削除

ある種類のオブジェクトは消す事ができません。これらのオブジェクトを取り除くには削除する必要があります。

### 注意

ロックされたオブジェクトは削除する事ができません。最初にロックを解除する必要があります。

### オブジェクトを削除するには

1. オブジェクトを選択します。

### 注意

次のステップに進む前に削除するオブジェクトを確認してください、SMART Notebookは確認なしにオブジェクトを削除します。

2. オブジェクトのメニューアローをタッチして **削除** を選択します。

## ページのクリア

ページから全てのオブジェクトを同時にクリアできます。

### 注意

ロックされたオブジェクトは削除する事ができません。最初にロックを解除する必要があります。

### ページをクリアするには

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

1. ページソーターが表示されていない場合**ページソーター**をプレスします。
2. クリアするページのサムネイルを選択します。

#### 注意

次のステップに進む前にクリアするページを確認してください。SMART Notebookは確認なしでページを削除します。

3. サムネイルのメニューアローをタッチして**ページのクリア**を選択します。

## 表の作成と利用

表をページに加えることができます。表を作成後、フリーハンドのオブジェクトや地理的な図形、直線、テキストおよびグラフィックファイル等のオブジェクトを表のセルに挿入する事ができます。

### 表を挿入するには

1. **表**をタッチ

グリッドが表示されます。

2. ポインターをグリッドの上に移動させ表上で行と列数を選択します。グリッドのセルは表のセルと一致しています。ページに表が表示されます。

### 表を描画するには

1. **ペン**をタッチし利用可能な線種を選択します。

#### 注意

ハイライトな線種は選ばないでください。

2. スクリーン上で表を描画します。

#### ヒント

表の線をできるだけ直線にして隅につなぎます。

3. **選択**をタッチ

4. インタラクティブスクリーンをタッチして長方形が図形の線を囲むまでドラッグします。

長方形が選択されたオブジェクトの回りに表示されます。

5. メニューアローをタッチして**表の認識**を選択します。

6. SMART Notebook が描画を表として認識するとオリジナルの描画を取り外してページに表を追加します。

## 表にオブジェクトを追加

表をページに加えた後、フリーハンドのオブジェクトや地理的な図形、直線、テキストおよびグラフィックファイル等のオブジェクトを表のセルに挿入する事ができます。

#### 注意

各セルには一つのオブジェクトのみを加えることができます。セルに複数のオブジェクトを加える場合は表に挿入する前にグループ化をします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

### オブジェクトを表に追加するには

1. オブジェクトを選択します。
  2. オブジェクトを表のセルにドラッグします。
- オブジェクトが表のセルに表示されます。

### 表からオブジェクトを削除するには

1. オブジェクトを選択します
2. オブジェクトを表の外にドラッグします。

## 表、行、列を選択

表、行、列、セル、あるいは選択されたセルを選択できます。表や表の一部を選択した後、以下が可能です。

- 線種、塗りつぶしおよびテキストのプロパティの変更
- 表、行、列のサイズ変更
- 行、列、セルの挿入と削除
- セルの分割と統合・セルのシェードの追加あるいは削除

### 表を選択するには

1. **選択**をプレス
2. 表の隅の近くの外側をタッチし反対側の隅まで長方形をドラッグします。

### 列を選択するには

1. **選択**をプレス
2. 列の最上部のセルの内側をタッチ、底のセルまでドラッグします。

### 行を選択するには

1. **選択**をプレス
2. 行の最左部のセルの内側をタッチ、最右部のセルまでドラッグします。

### セルを選択するには

1. **選択**をプレス
2. 表の隅の近くの内側をタッチし反対側の隅まで長方形をドラッグします。

### 複合セルを選択するには

1. **選択**をプレス
2. 列の最上部左部のセルの内側をタッチ、最下部右部のセルまでドラッグします。

## 表の移動

表を作成した後、ページに移動させる事ができます。

### 表を移動するには

表を選択して表の上部左隅の四角をタッチし表をページの異なる位置にドラッグします。

あるいは表の全てのセルを選択しページの異なる位置にドラッグします。

## 表のプロパティの変更

プロパティタブを使って表の透明度やセルの色、線の色等を変更します。

1. 表、行、列、セルあるいは選択されたセルを選択します。
2. プロパティタブが表示されていない場合プロパティをプレスします。
3. **塗りつぶし効果** をプレスします。
4. 透明度を変えるにはスライダーをタッチしてドラッグします。
5. 塗りつぶしを単色に変えるには**単色の塗りつぶし**を選択して色を選択します。  
塗りつぶしを2色のグラデーションに変えるには **グラデーションの塗りつぶし**を選択して2色を選択します。  
塗りつぶしをパターンに変えるには **パターンの塗りつぶし**を選択して前景色と背景色の2色とパターンを選択します。  
塗りつぶしをイメージに変えるには**イメージの塗りつぶし**を選択して、**参照**をプレスし背景にしたいイメージを選択します。**開く**をプレスします。
6. 線種を変えるには**線のスタイル**をタッチして色と太さとスタイルを選択します。
7. テキストに種類を変えるには**テキストのスタイル**をプレスしてフォントタイプとスタイルとサイズを選択します。

## 表、行、列のサイズ変更

ページの表を加えてオブジェクトを表のセルに挿入することができます。

表をカスタマイズしたい場合はテーブルと行と列のサイズを変更することができます。

### 表のサイズを変更するには

1. 表を選択します。
2. 表のリサイズハンドル (白の円形)をタッチし、ドラッグして表を大きくしたり小さくすることができます。

### 列のサイズを変更するには

1. **選択**をプレス
2. 列の右にある垂直境界をプレス  
リサイズポインターが表示されます。
3. 垂直境界線をドラッグして列のリサイズをおこないます。

### 行のサイズを変更するには

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)



1. **選択**をタッチ
2. 行の下にある水平境界をプレス  
リサイズポインターが表示されます。
3. 水平の境界線をドラッグして行のリサイズをおこないます。

## 行、列あるいはセルの追加と削除

表をページに追加して表のセルにオブジェクトを挿入できます。表をカスタマイズしたい場合は列あるいは行を追加します。

### 列を追加するには

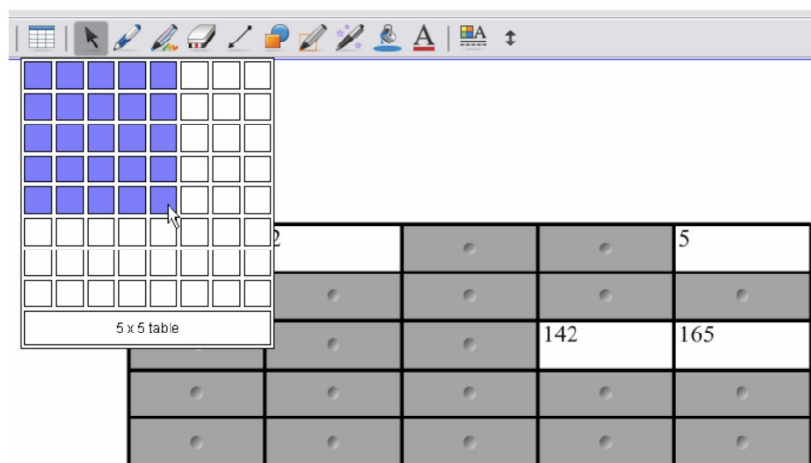
1. 列を選択
  2. 列を右タッチして **列の挿入**を選択
- 新しい列が現在の列の右側に表示されます。 .

### 列を削除するには

1. 列を選択
2. 列を右プレスして **列の削除**を選択

### 行を追加するには

1. 行を選択
  2. 行を右プレスして行の挿入を選択
- 新しい行が現在の行の下側に表示されます。 .



### 行を取り除くには

1. 行を選択
2. 行を右プレスして行の削除を選択

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

### セルを取り除くには

1. セルを選択
2. セルを右プレスしてセルの削除を選択

## 表のセルの分割と統合

表をページに追加して表のセルにオブジェクトを挿入できます。表をカスタマイズしたい場合はセルを分割か統合します。

### セルを分割するには

1. セルを選択します。
2. セルを右クリックし**分割**を選びます。
3. オプションで複数の行や列にセルを分割するか選びます。

### セルを統合するには

1. セルを選択します。
2. セルを右クリックし**統合**を選びます。

## セルシェードの追加と削除

表をカスタマイズしたい場合は表のセルにセルシェードを追加することができます。これはプレゼン中にゆっくりとセルの内容を見せるのに役立ちます。

### 注意

表のプロパティを変更するにはセルのシェードを最初に取り除いてください。

### 表にシェードを追加するには

1. 表を選択します。
2. 表のメニューアローをプレスし**表のシェードの追加**を選択します。

### 表からシェードを取り除くには

1. 表を選択します。
2. 表のメニューアローをプレスし**表のシェードの削除**を選択します。

### セルまたは複数セルにシェードを追加するには

1. セルあるいは複数のセルを選択します。
2. セルを右クリックして**セルシェードの追加**を選択します。

### セルからシェードを取り除くには

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

セルシェードをプレス

## ページから表を取り除く

ページから表を取り除くことができます。

### ページから表を取り除くには

1. 表を選択します。
2. 表のメニューアローをプレスし削除を選択します。

## ページソーター

ページソーターは現在のファイルの概要を示します。ページソーターは全ページをサムネイルとして表示しページに内容の変更の際に自動的に更新します。

## ページソーターを開く

いつでもページソーターを開くことができ隠すことができます。またスクリーンの両端に移動が可能でリサイズもできます。

### ページソーターを開くには

ページソーター をプレスします。

### ページソーターを移動するには

タブの下のリサイズポインターアイコンをプレスしページソーターをホワイトボードの他の端に移動させます。元に戻すにはもう一度リサイズポインターアイコンをプレスします。

### ページソーターの幅を広げるには

境界線をホワイトボードエリアまでドラッグします。

### ページソーターを自動的に隠すには

スクリーンの下の自動非表示チェックボックスをタッチします。

ページソーターは次回オブジェクトを選択する時間を最短にします。

自動非表示オプションを無効にするには自動非表示チェックボックスをクリアします。

## ページのグループ핑グ

現在のファイル内でページ群をグループ化できます。これでページソーターで特定のグループを即座に見つけることができます。ファイルに多量のページがある場合に有効です。

### ヒント

グループ内の全てのページにテーマを適用することができます。

#### グループを作成あるいは編集するには

1. ページソーターが表示されていない場合 **ページソーター** をプレスします。
2. ページソーターの**グループ**ボタンをタッチし **編集グループ**を選択します。  
ホワイトボードのエリアでは全てのグループとページが表示されます。グループは青のバーでページはサムネイルとして表示されます。
3. 上部左隅の**新しいグループを追加**ボタンをプレスします。  
新しい青のバーが表示され新しいページが青のバーの下に表示されます。
4. 青のバーのメニューアローをタッチし**グループ名の変更**を選択します。
5. グループに新しい名前を入力します。
6. ページをグループに移すにはページのサムネイルをタッチしグループの青のバーの下の続けたいサムネイルの右にドラッグします。グループ内でページを順番を再構成するにはページのサムネイルをプレスし以下の続けたいサムネイルの右にドラッグします。グループの順番を再構成するにはグループの青のバーをプレスし続けたいグループの青のバーの下にドラッグします。グループを削除してページを維持するには異なるグループに全てのページを移動させます。グループにページが含まれていない場合、SMART Notebook は自動的に削除します。グループとその中の全てのページを削除するには青のバーのメニューアローをプレスし**グループの削除**を選択します。
7. グループの生成と編集が終了した時点でサムネイルをダブルプレスしてページを表示させます。

#### ページソーター内のグループにアクセスするには

1. ページソーターが表示されていないければページソーターをプレス
2. **グループ** をタッチしグループ名を選択します。ページソーターはグループの最初のページのサムネイルを表示します。

## ギャラリー

ギャラリーには授業で使うクリップアート、背景、マルチメディアコンテンツ、Notebookファイルとページが含まれており、このコンテンツのプレビューイメージを表示することができます。ギャラリーはSMART ラーニングマーケットプレイスや他のオンラインリソースへのアクセスを可能にします。

## ギャラリーを開く

いつでもギャラリーを開いたり、ホワイトボード上にスペースを作るように隠しておくことができます。ギャラリーをスクリーンのどちらかに寄せたり、サイズを変えることも可能です。

### ギャラリーを開くには

ギャラリーをタッチ

### ギャラリーを移動するには

ギャラリーをホワイトボードの他のサイドに移動させるにはタブの下のポインターアイコンのサイズを変更します。再度リサイズポインターアイコンをタッチして後ろに移動させます。

### ギャラリーの幅を広げるには

境界線をホワイトボード領域にドラッグさせます。

### ギャラリーを自動的に隠すには

スクリーンの下の自動非表示チェックボックスを選択します。ギャラリーは次回にホワイトボード上でオブジェクトを選択する時間を最小にします。自動非表示を無効にするには自動非表示チェックボックスをクリアにします。

## ギャラリーの参照と検索

ギャラリーにはカテゴリーリストとコンテンツリストの2つのセクションで構成されています。カテゴリーのサムネイルでコンテンツのイメージをプレビューで確認できます。ギャラリーはテンプレート、クリップアートイメージおよびフラッシュファイルで構成され、これらのファイルは内容カテゴリにまとめられています。好きなアイテムを Notebook ページにオブジェクトとしてドラッグできます。ギャラリーを再編成したり、新しいサブカテゴリ、追加の画像、フラッシュファイル、ページテンプレートおよびギャラリーコレクションを他の Notebook ファイルから付け加えることができます。

### ギャラリーを参照するには

1. ギャラリーが表示されていない場合はギャラリーをプレス
2. サブカテゴリを見るためにはカテゴリーの+サインをプレスします。

#### 注意

カテゴリーの-サインのタッチでカテゴリーを閉じます。

3. コンテンツを表示するのにカテゴリーあるいはサブカテゴリを選択します。

### ギャラリーを検索するには

1. ギャラリーが表示されていない場合はギャラリーをプレス
2. ここに検索する用語をいれます。と表示されるボックスに入力します。そして検索ボタンをプレスします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

ギャラリーは用語を含むすべてのコンテンツを表示します。

## ページにギャラリー項目の追加

ギャラリーには現在のページに追加が可能なクリップアート、背景、マルチメディアコンテンツ、Notebook ファイルおよびページが含まれています。

### ページにギャラリー項目を追加するためには、

1. ギャラリーが表示されていない場合はギャラリーをプレス
2. 追加したいギャラリーアイテムを含むカテゴリを参照します。  
カテゴリのコンテンツがサムネイルとして表示されます。
3. サムネイルをページにドラッグします。

## ギャラリーのオブジェクトの追加

現在のページからオブジェクトをギャラリーのマイコンテンツ・カテゴリに追加することができます。

### ギャラリーにオブジェクトを追加するには

1. ギャラリーが表示されていない場合はギャラリーをプレス
2. ギャラリーに追加したいオブジェクトを選択します。
3. ページからオブジェクトをギャラリーのマイコンテンツカテゴリかサブカテゴリのひとつにドラッグします。

## ギャラリーにページの追加

ページを再利用したい場合、便利な場所で使えるようにギャラリーのマイコンテンツカテゴリに追加することができます。

### ギャラリーにページを追加するには

1. ページ上でオブジェクトを正確に表示できるまで。作成、編集 操作できます。
2. ファイル > ページをギャラリーアイテムとして保存。を選択  
ページをギャラリーアイテムとして保存のダイアログボックスが表示されます。
3. ページを保存したいフォルダーを参照
4. ファイル名ボックスにページ用の名前を入力
5. 保存をプレス
6. ギャラリーコンテンツリストでマイコンテンツ (あるいはサブカテゴリのひとつ) を選択  
メニューアローをプレスしてマイコンテンツに追加を選びます。  
マイコンテンツに追加のダイアログボックスが表示
7. ステップ5で保存したアイテムを参照して選択します。 .
8. 開くをクリック

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## ギャラリーにサポートファイルを追加

ファイルをギャラリーマイコンテンツカテゴリーに追加することができます。SMART Notebookがファイル形式をサポートしていれば、適切な場所で利用できます。

### マイコンテンツにサポートファイルを追加するには

1. ギャラリーが表示されていなければ**ギャラリー**をプレス
2. ギャラリーコンテンツリストでマイコンテンツ (あるいはサブカテゴリーのひとつ) を選択 メニューアローをタッチしてマイコンテンツに追加を選びます。マイコンテンツに追加のダイアログボックスが表示
3. ギャラリーに追加したいアイテムを参照し選択します。
4. **開く**をプレス

## ギャラリーにテーマを追加

テーマを使ってページをカスタマイズします。テーマを作成してギャラリーに追加して便利な場所で利用可能にできます。このテーマはページやグループ内の全ページ、ファイル内の全ページに適用可能です。ギャラリーには事前に用意されたテーマが含まれています。

### テーマを作成するには

1. **フォーマット > テーマ > テーマの作成**を選択します。 .
  2. テーマの名前ボックスにテーマ用の名前を入力
  3. ページ用に同様の方法で背景を設定します。
  4. ページ用に同様の方法でオブジェクトを追加、操作、編集を設定します。
  5. 保存をタッチ
- テーマがギャラリーマイコンテンツ > 背景とテーマ カテゴリーリストに表示されます。

## ギャラリーコンテンツの整理

ギャラリーのマイコンテンツカテゴリーにオブジェクトやページやサポートされているファイルを追加したい場合、カテゴリー構造を再編成する場合はサブカテゴリーを作成してサブカテゴリー間にギャラリーアイテムを移動させます。

### ギャラリーにサブカテゴリーを追加するには

1. ギャラリーが表示されていなければ**ギャラリー**をプレス
2. ギャラリーコンテンツリストでマイコンテンツ (あるいはサブカテゴリーのひとつ) を選択  
メニューアローをタッチして新しいフォルダーを選びます。  
新しいフォルダーが表示され、デフォルトでは新しいフォルダー名は無題になっています。
3. サブカテゴリー用に新しい名前を入力します。

### アイテムまたはサブカテゴリの名前を変更するには

1. ギャラリーが表示されていなければギャラリーをプレス
2. ギャラリーカテゴリリストでマイコンテンツを選択  
名前を変更したいアイテムあるいはサブカテゴリを参照します。
3. アイテムあるいはサブカテゴリを選択しメニューアローをプレスして名前の変更を選びます。
4. 新しい名前を入力します。

### 異なるサブディレクトリにギャラリーを移動するには

1. ギャラリーが表示されていなければギャラリーをプレス
2. 移動させたいギャラリーアイテムを含むカテゴリを参照します。  
ギャラリーはカテゴリのコンテンツを表示します。
3. アイテムを他のサブカテゴリにドラッグします。

## ギャラリーコレクションのインポート

コレクションファイルのインポートおよびエクスポートによりカスタムなカテゴリを他人と共有したり、他人が作成したカテゴリを利用することを可能にします。コレクションファイルはギャラリーのマイコンテンツカテゴリに追加されます。コレクションファイルをインポートすると全てのファイルが新しいサブカテゴリとして表示されます。

### ギャラリーコレクションをインポートするには

1. ギャラリーが表示されていなければギャラリーをタッチ
2. ギャラリーカテゴリリストで**マイコンテンツ** (あるいはサブカテゴリのひとつ) を選択しメニューアローをタッチし、**マイコンテンツに追加**を選択します。ダイアログボックスが表示されます。
3. インポートしたいコレクションファイルを含むホルダーを参照します。

#### 注意

コレクションファイルには拡張ギャラリーが含まれています。

4. コレクションファイルを選択し**開く**をプレス  
コレクションが新しいサブカテゴリとして表示されます。

## ギャラリーコレクションのエクスポート

コレクションファイルのインポートおよびエクスポートによりカスタムなカテゴリを他人と共有します。コレクションファイルをエクスポートすると、SMART Notebookは選択されたカテゴリのコンテンツを拡張ギャラリーとともに単一ファイルに保存します。コレクションファイルを生成すると他のコンピュータに移動し他のSMART Notebookユーザに送ることができます。

### ギャラリーコレクションをエクスポートするには

1. コレクションに保存したい項目を含むカテゴリを選択します。



## 注意

SMART Notebook は選択されたカテゴリをエクスポートしますがサブカテゴリはエクスポートしません。

2. カテゴリのメニューアローをタッチし **コレクションファイル**としてエクスポートを選択します。

ダイアログボックスが表示されます。

3. コレクションファイルを保存したいホルダーを参照します。

4. **ファイル名**ボックスでファイル用に名前を入力します。

5. **保存**をプレスします。

## ギャラリーにオンラインコンテンツをインポート

SMART テクノロジーズ社はオンラインリソースやSMART製品を利用する教育者用のオンラインコンテンツを提供しています。これらのリソースはレッスンアクティビティや教育用ソフトウェア、利用者へのアドバイス等を含んでいます。

コレクションファイルとしてこれらをダウンロードしてギャラリーにインポートすることができます。

### オンラインコンテンツからコンテンツをインポートするには

1. ギャラリーが表示されていなければ**ギャラリー**をプレス
2. ギャラリーカテゴリリストでオンラインリソースを選択
3. レッスンアクティビティや標準カリキュラムまたは他の利用可能なカテゴリを選択 既存のブラウザが起動
4. スクリーンのインストラクションに従ってコレクションを選択しダウンロードします。
5. コレクションのダウンロードが終わればギャラリーにインポートします。

## チームコンテンツに接続

ギャラリーコンテンツを共有ネットワークドライブに保存して複数のユーザに同じホルダーをアクセスさせることができます。変更があった場合SMART Notebookはすべてのユーザに対して自動的に更新をおこないます。

## 注意

チームコンテンツホルダーへのアクセス認証はホルダーアクセス認証と同様です。ネットワークドライブにフルアクセスの権利があればチームコンテンツを使ってホルダーの項目を追加したり、削除することができます。しかし参照権限のみであればファイルをコピーできるだけになります。

### チームコンテンツに接続するには

1. ギャラリーが表示されていなければ**ギャラリー**をプレス
2. 追加のギャラリー操作の追加 をタッチして**チームコンテンツに接続**を選択します。  
フォルダーの参照ダイアログボックスが表示されます。
3. コンテンツを含むホルダーを参照し**OK**をプレスします。

## 注意

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

チームコンテンツロケーションにアクセス権限が無い場合、チームコンテンツを含むホルダーは利用できません。ギャラリーにコンテンツが表示されます。

## 添付タブの利用

添付タブを使ってファイルのコピー、ファイルのショートカットあるいはWebページやファイルへのリンクを添付することができます。これで授業中に簡単にファイルやWebページを見つけて開くことができます。添付ファイルタブでファイルコピーの添付、シートカットあるいはWebページのリンクを可能にします。

添付タブはファイルの全ての添付をリストします。

- 添付アイテムがファイルのコピーであれば、サイズコラムにファイルのサイズが表示されます。
- 添付アイテムがファイルへのショートカットあれば、サイズコラムにショートカットが表示されます。
- 添付アイテムがハイパーリンクであれば、サイズコラムにURLが表示されます。

## 添付タブを開く

いつでも添付タブを開くか隠すことができます。添付タブはスクリーンの両端に移動させることもできますしリサイズも可能です。

### 添付タブを開くには

添付 をプレス

### 添付タブを移動するには

添付タブをホワイトボードの両端に移動させるためにタブの下のリサイズポインターアイコンをタッチします。元に戻すにはリサイズポインターアイコンを再度タッチします。

### 添付タブの幅を広げるには

境界線を作業エリアまでドラッグします。

### 添付タブを自動的に隠すには

スクリーンの下部にある**自動非表示**チェックボックスを選択

添付タブは次回オブジェクトを選択する時間を最短にします。

自動非表示オプションを無効にするには**自動非表示**チェックボックスをクリアします。

## 添付タブの項目を開く

添付タブの添付ファイルやWebページを開くことができます。

### 添付タブの項目を開くには

1. 添付タブが表示されていない場合、**添付**をプレスします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

添付タブリストが現在のファイルの全ての添付リストを表示します。

- ファイルのコピーを添付する場合はサイズ欄にファイルのサイズが表示されます。
- ファイルへのショートカットを添付する場合はサイズ欄にショートカットが表示されます
- Webページへのリンクを添付する場合はサイズ欄にURLが表示されます

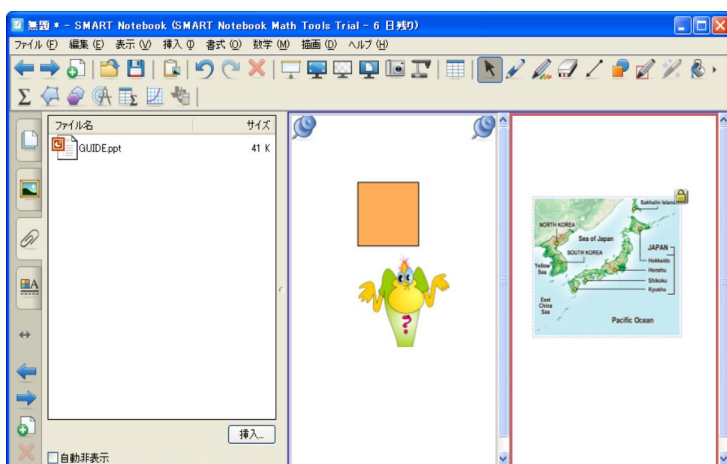
2. ファイルを開くにはファイル名かショートカットをダブルプレスします。

あるいはWebページを開くにはリンクをダブルプレスします。

## 添付タブにファイルのコピーを添付

添付タブにファイルにコピーを添付することができます。これは授業中にファイルを簡単に見つけるのに役立ちます。

またファイルのショートカットやリンクやWebページを添付することもできます。



### 注意

ファイルを添付する場合、Notebook ファイルのサイズが増加します。SMART Notebookは空白を保存するようにファイルを圧縮しますが他よりも多く圧縮することができます。添付ファイルをエクスポートしたい場合、ファイルのショートカットでなく、ファイルのコピーを添付し。SMART Notebook はショートカットをエクスポートしません。ショートカットを添付する場合、ファイルがアクセスできるか確認してください。

### ファイルのコピーを添付するには

1. 添付タブが表示されていない場合、**添付**をタッチします。
2. 添付タブの下部にある**挿入**ボタンをタッチし**ファイルのコピーを挿入**を選択します。

**ファイルのコピーを挿入**ダイアログボックスが表示されます。

3. 添付したいファイルを参照し選択します。
4. **開く**をプレス

添付タブにファイル名とサイズが表示されます。

### ファイルのショートカットを添付するには

1. 添付タブが表示されていない場合、**添付**をプレスします。
2. 添付タブの下部にある**挿入**ボタンをタッチし**ファイルのショートカットを挿入**を選択します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

ファイルのショートカットを挿入ダイアログボックスが表示されます。

3. 添付したいファイルを参照し選択します。

4. **開く**をプレス

添付タブにファイル名とショートカットが表示されます。

### Webページにリンクを張るには

1. 添付タブが表示されていない場合、**添付**をプレスします。

2. 添付タブの下部にある**挿入**ボタンをタッチし**ハイパーリンクの挿入**を選択します。

ハイパーリンクの挿入ダイアログボックスが表示されます。

3. **ハイパーリンク**ボックスにWebページのアドレスを入力します。

4. **表示名**ボックスにリンク名を入力します。

5. **OK**をプレス

添付タブに表示名とURLが表示されます。

## プロパティタブの利用

プロパティタブは現在選択されているページのオブジェクト属性の変更を可能にします。例えば図形を選んだ場合、プロパティタブは塗りつぶしや線種やオブジェクトアニメーションの変更を可能にします。

- 線種の色、太さおよびスタイル
- オブジェクトの透過性と塗りつぶし効果
- フォントタイプ、サイズ、スタイル
- オブジェクトのアニメーション

プロパティタブは選択したオブジェクトで利用可能なオプションのみを表示します。プロパティタブにはページレコーディングボタンが含まれており、ページで実行されたアクションを記録することができます。

### プロパティタブを開く

いつでもプロパティタブを開くか隠すことができます。プロパティタブはスクリーンの両端に移動させることもできますしリサイズも可能です。

#### プロパティタブを開くには

プロパティをタッチ。

#### プロパティタブを移動するには

プロパティタブをホワイトボードの両端に移動させるためにタブの下のリサイズポインターアイコンをタッチします。元に戻すにはリサイズポインターアイコンを再度タッチします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

### プロパティタブを広げるには

境界線をホワイトボードエリアまでドラッグします。

### プロパティタブを自動的に隠すには

スクリーンの下部にある**自動非表示**チェックボックスを選択

プロパティタブは次回オブジェクトを選択する時間を最短にします。

自動非表示オプションを無効にするには**自動非表示**チェックボックスをクリアします。

## ページのレコーディング

ページレコーディングオプションで現在の操作の記録を可能にします。

### ページをレコーディングするには

1. プロパティタブが表示されていない場合、**プロパティ**をプレスします。

2. ページのレコーディングをプレス

3. レコーディングの開始をプレス

ホワイトボードの上部左隅に赤い円形が表示されます。

4. 現在のページで記録したい操作を行います。

5. 操作が終わった時点でレコーディングの停止をプレス

ページ上にプレイバックのツールバーが表示されます。

### ページレコードを開始するには

1. ページを表示します。

ページにレコーディングが含まれている場合ページ上にプレイバックのツールバーが表示されます。

2. レコードを再生する場合、**再生**をプレス

3. レコードを一時停止する場合、**一時停止**をプレス

4. レコードを停止する場合、**停止**をプレス

### ページレコードを削除するには

1. ページを表示

ページがページレコーディングを含んでいる場合はプレイバックツールバーが表示されます。

2. レコーディングを取り除くにはツールバーの終了ボタンをプレスします。

## Notebook ファイルへのインポート

オブジェクトを作成してギャラリーに追加することの他に、テキストや図や背景ページや様々なリソースからの他のコンテンツのインポートが可能です。この方法はファイルに追加した情報の種類に依存します。

このガイドでは既に画面のキャプチャや添付や挿入の方法を詳細に説明してきましたが、以下の事も可能です。

- ・プリントキャプチャを使って他のプログラムからファイルをインポート
- ・テキストの貼付け
- ・PowerPoint ファイルからのインポート
- ・他社のホワイトボード・ソフトウェアプログラムからのインポート

### 注意

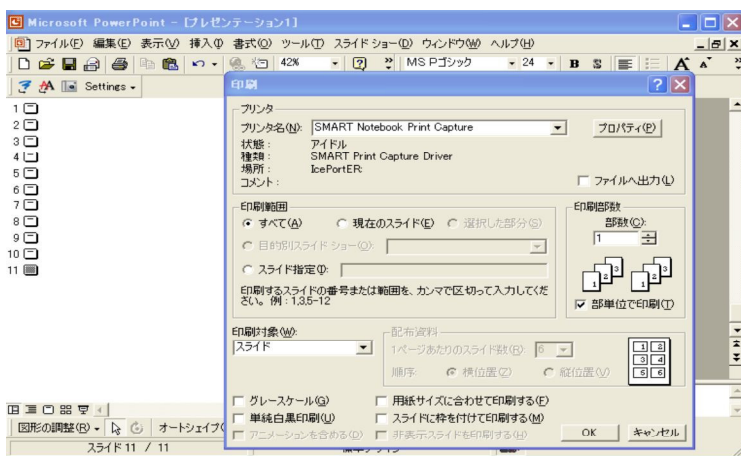
- ・SMART Notebook はSMART製品と接続時のみ、一部のファイルタイプをサポートします。
- ・SMART Notebook でサポートされていないファイルをインポートする場合、添付タブに表示されます。サードパーティのソフトウェアで添付ファイルを開くことは可能ですがページに加える事はできません。
- ・SMART製品と接続に関わらず.flv ビデオファイルとmp3 オーディオフォーマットをサポート

## SMART Notebook プリントキャプチャでファイルにインポート

SMART Notebook ソフトウェアをインストールすると SMART Notebook プリントキャプチャもインストールされます。これは他のプリンターと同様に機能しますが他のプリンターとの違いは紙に印刷される代わりにNotebook ファイルとして出力される点です。インポートされたファイルの各ページはオリジナルフォーマットとページ切れを維持したままオブジェクトとして表示されます。

### SMART Notebookプリントキャプチャでファイルをインポートするには

- 1.Notebookにエクスポートしたいソースファイル上で、**ファイル > 印刷**を選択  
印刷ダイアログボックスが表示されます。
- 2.プリンターリストから**SMART Notebook プリントキャプチャ**を選択します。
- 3.ページオリエンテーションとグラフィックの解像度を選択してOKをプレスします。



### 注意

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

**OK** ボタンの代わりにキーボードのENTER キーを押さないでください。  
ENTER キーは変更を保存しないでダイアログボックスを閉じてしまいます。

4. **ページ範囲**を選択して **OK**をタッチします。

Notebookファイルが開いていないで新ファイルが開いていればソースファイルの各ページは別のページに表示されます。あるいはNotebookファイルが開いていればソースファイルの各ページは現在のページの後に表示されます。  
このプロセスには数分かかります。

#### **注意**

SMART Notebookはプリントキャプチャのグラフィックを場所にロックします。修正する前にロックを外す必要があります。

## **ページへテキストの貼付け**

Notebookファイル上で他のページからのテキストをページに貼付けることができます。

### **他のプログラムからテキストをカットしてページに貼付けるには**

1. 他のプログラム上で切り取りたいテキストを選択し**切り取り**をプレスします。
2. SMART Notebookウィンドウで**貼付け**をプレスします。

### **他のプログラムからテキストをコピーしてページに貼付けるには**

1. 他のプログラム上でコピーしたいテキストを選択し**コピー**をプレスします。
2. SMART Notebookウィンドウで**貼付け**をプレスします。

## **Microsoft PowerPoint ファイルのインポート**

コンテンツをPowerPoint ファイルを含む様々なファイルからNotebookファイルにインポートできます。

#### **注意**

ファイルはMicrosoft PowerPoint 2000 以降のバージョンでなければなりません。

### **PowerPoint ファイルをインポートするには**

1. SMART Notebookウィンドウで **ファイル > インポート**を選択します。  
ダイアログボックスが表示されます。
2. 参照してインポートしたいPowerPointファイルを選択します。
3. **開く**をプレス

Notebook ファイル上で PowerPoint ファイルを開きます。

#### **注意**

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

グラディエーション、パターンやイメージ効果がインポートできない場合もあります。これらの効果はページ上で不正確に表示されます。

## 他社のホワイトボードプログラムからNotebook ファイルへのインポート

コンテンツを他のホワイトボードプログラムを含む様々なファイルからNotebookファイルにインポートできます。

### 他社のホワイトボードプログラムからファイルをインポートするには

#### 1. 開くをプレス

ダイアログボックスが表示

#### 2. ファイルタイプリストの全ファイル (\*.\*) を選択

#### 3. 開きたいファイルを参照して選択

#### 4. 開くをプレス

SMART Notebook をサポートしているファイルのインポートであればファイルが開きます。

SMART Notebook のサポートしていないファイルのインポートであれば添付タブに表示されます。

サードパーティのソフトウェアで添付ファイルを開くことは可能ですがページに加える事はできません。

## Notebook ファイルからのエクスポート

HTML やPDFを含む多様なフォーマットのエクスポートする事ができます。他のページを表示した際、あるいは一定の時間が経過した後で、SMART Notebook に自動的にファイルをエクスポートするような設定が可能です。Notebook ファイルからテキストをカットおよびコピーして他のプログラムに貼付けることができます。

## ファイルのエクスポート

Notebook ファイルをPowerPoint ファイルやイメージファイルと同様にHTML やPDFを含む多様なフォーマットにエクスポートする事ができます。

### 注意

イメージとしてエクスポートする際、SMART Notebook は添付ファイルを含みません。添付ファイルを含めるにはHTML かPDF (Adobe Acrobat Reader 6.0 以降)のどちらかでファイルをエクスポートしなければなりません。

SMART Notebook はショートカットとしてNotebookファイルに添付したファイルはエクスポートできません。添付ファイルを含めたい場合、ファイルのコピーを添付します。SMART Notebook に異なるページを表示したり、一定時間が経過する折にNotebookを自動的にエクスポートするように設定できます。SMART Notebook はグラディエーション、パターンやイメージ効果をエクスポートできない場合もあります。これらの効果はエクスポートされたファイル上で単色に塗りつぶされる等不正確に表示されます。

### HTML ファイルとしてエクスポート

#### 1. ファイル > エクスポート > Web ページを選択します。

#### 2. エクスポートしたいファイルを参照します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)



3. **ファイル名**ボックスでファイル名を入力する
4. **保存**をプレスします。

### イメージファイルとしてエクスポート

1. **ファイル > エクスポート > イメージファイル**を選択します。
2. エクスポートしたいフォルダーを選択します。
3. **イメージタイプ**を選択します。
4. **イメージサイズ**を選択します。
5. **保存**をプレス

### PDF ファイルとしてエクスポート

1. **ファイル > エクスポート > PDF**を選択します。  
PDFエクスポートダイアログボックスが表示されます。
2. サムネイルを印刷したい場合は、**印刷対象でサムネイル**を選択します。  
あるいは 配布物を印刷したい場合は、**印刷対象で配布物**を選択します。全ページを印刷したい場合は、**印刷対象でフルページ**を選択します。
3. 各印刷ページにヘッダー、フッター、印刷日を加えるには**ヘッダー、フッター、印刷日**のテキストボックスに情報を入力します。
4. 各印刷ページにページ番号を加えるには**ページ番号の表示**チェックボックスを選択します。
5. サムネイルか配布物を印刷する場合は、**レイアウト**を選択します。
6. ファイルを印刷するには **全てを印刷**を選択します。  
あるいは選択したページを印刷する場合は**ページ**を選択し印刷したページ番号を入力します。別々のページ番号をカンマで区切るかハイフンでページ範囲を入力します。例 1,2,4-7。
7. **保存**をタッチ  
PDFとして印刷するダイアログボックスが表示されます。
8. ファイルをエクスポートしたいフォルダーを参照します。
9. **ファイル名**ボックスでファイル名を入力する
10. **保存**をプレスします。

### PowerPoint ファイルとしてエクスポート

1. **ファイル > エクスポート > PowerPoint**を選択します。  
ダイアログボックスが表示されます。
2. 新しいファイルを保存したいフォルダーを参照します。
3. **ファイル名**ボックスでファイル名を入力する
4. **保存**をタッチします。

### 自動的にファイルをエクスポート

異なるページを表示するか特定の時間が経過した場合にファイルを自動的にエクスポートするように設定できます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## HTMLファイルとして自動的にファイルをエクスポート

### 1. ファイル > 時間を設定して保存を選択

ウィザードダイアログボックスが表示されます。

2. **別のページに移動する毎**を選択して異なるページを表示する時にファイルを自動的にエクスポートします。

あるいは**1分**、**5分**、**15分**あるいは**30分**を選択して時間が経過する時にファイルを自動的にエクスポートします。

3. **次に**をプレス

4. **Web ページ (HTML)**を選択

5. **次に**をプレス

ダイアログボックスが表示されます。

6. ファイルをエクスポートしたいフォルダーを参照します。

7. **ファイル名**ボックスでファイル名を入力する

8. **保存**をプレスします。

## PDF ファイルとして自動的にファイルをエクスポート

### 1. ファイル > 時間を設定して保存を選択

ウィザードダイアログボックスが表示されます。

2. **別のページに移動する毎**を選択して異なるページを表示する時にファイルを自動的にエクスポートします。

あるいは**1分**、**5分**、**15分**あるいは**30分**を選択して時間が経過する時にファイルを自動的にエクスポートします。

3. **次に**をプレス

4. **PDF**を選択

エクスポートされたファイル名にエクスポートされた時間を印刷する場合は**タイムスタンプが付けられたPDF**を選択します。

5. **次に**をプレス

ダイアログボックスが表示されます。

6. ファイルをエクスポートしたいフォルダーを参照します。

7. **ファイル名**ボックスでファイル名を入力する

8. **保存**をプレスします。

## イメージファイルとして自動的にファイルをエクスポート

### 1. ファイル > 時間を設定して保存を選択

ウィザードダイアログボックスが表示されます。

2. **別のページに移動する毎**を選択して異なるページを表示する時にファイルを自動的にエクスポートします。

あるいは**1分**、**5分**、**15分**あるいは**30分**を選択して時間が経過する時にファイルを自動的にエクスポートします。

3. **次に**をプレス

4. **イメージファイル**を選択

5. **次に**をプレス

ダイアログボックスが表示されます。

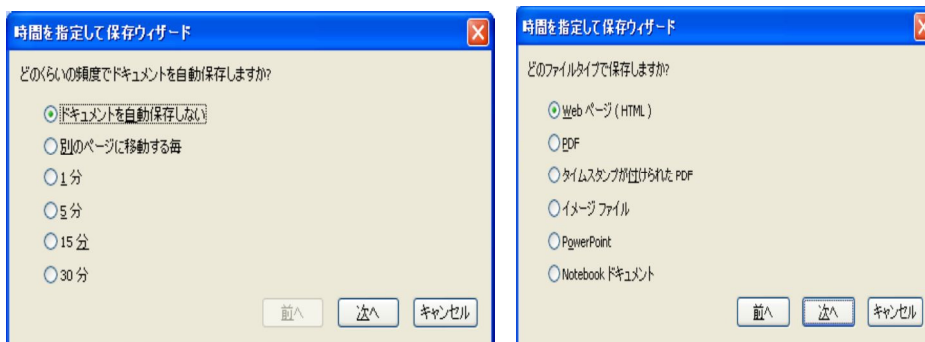
[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

6. ファイルをエクスポートしたいフォルダーを**参照**し**オープン**をプレス
7. 利用できるフォーマットからイメージタイプを選択
8. **イメージサイズ**を選択
9. **OK**をプレスします。

### PowerPoint ファイルとして自動的にファイルをエクスポート

1. **ファイル > 時間を設定して保存** を選択  
ウィザードダイアログボックスが表示されます。
2. **異なるページに移動する度に** を選択して異なるページを表示する時にファイルを自動的にエクスポートします。  
あるいは**1分**、**5分**、**15分** あるいは**30分** を選択して時間が経過する時にファイルを自動的にエクスポートします。
3. **次に**をタッチ
4. **PowerPoint**を選択
5. **次に**をプレス  
ダイアログボックスが表示されます。
6. ファイルをエクスポートしたいフォルダーを**参照**
7. **ファイル名**ボックスでファイル名を入力する
8. **保存**をプレスします。



### 自動ファイルエクスポートをキャンセルするには

1. **ファイル > 時間保存** を選択  
ウィザードダイアログボックスが表示されます。
2. **ドキュメントを自動保存しない**を選択
3. **次に**をプレス

## ページからテキストの切り取りまたはコピー

notebookファイルのページからテキストを切り取るかコピーして他のプログラムに貼付けることができます。

### ページからテキストを切り取り貼付けるには

1. SMART Notebook上で、オブジェクトのメニューアローをプレスし**切り取り**を選択します。
2. 他のプログラム上で**編集 > 貼り付け**を選択します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## ページからテキストをコピーして他のプログラムに貼付けるには

1. SMART Notebook上で、オブジェクトのメニューアローをタッチしコピーを選択します。
2. 他のプログラム上で**編集 > 貼り付け**を選択します。

## プレゼンテーションツールの利用

マジックペンを使って、徐々にフェードアウトするフリーハンドのオブジェクトの作成や拡大ウィンドウやスポットライトウィンドウを開くことができます。

## マジックペンを利用したオブジェクトのフェード

マジックペンを使って、10秒後に徐々にフェードアウトするフリーハンドのオブジェクトを作成することができます。

### フェードアウトするオブジェクトを作成するには

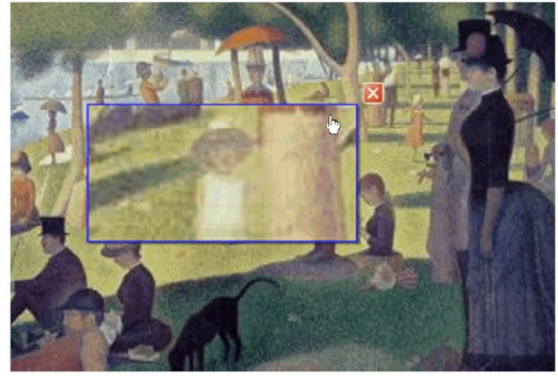
1. マジックペンをプレスします。
2. 指かペントレイペンを使って (ホワイトボード) あるいはタブレットの付属するペン (ペンディスプレイ) で、インタラクティブスクリーンでオブジェクトを描画します。約10秒でオブジェクトはゆっくりとフェードアウトします。

## マジックペンを利用したオブジェクトの拡大ウィンドウ

マジックペンを使って、拡大ウィンドウを開くことができます。

### 拡大ウィンドウを開くには

1. マジックペンをタッチします。
2. 指かペントレイペンを使って (ホワイトボード) あるいはタブレットに付属しているペン (ペンディスプレイ) で、インタラクティブスクリーンで四角形を描画します。  
拡大ウィンドウが表示されます。
3. サイズを小さくするには、拡大ウィンドウの中心から左にドラッグします。  
あるいはサイズを大きくするには、拡大ウィンドウの中心から右にドラッグします。
4. windowの回りを移動させるには 拡大ウィンドウの端の近くからドラッグします。
5. 拡大ウィンドウを閉じるためにプレスします。

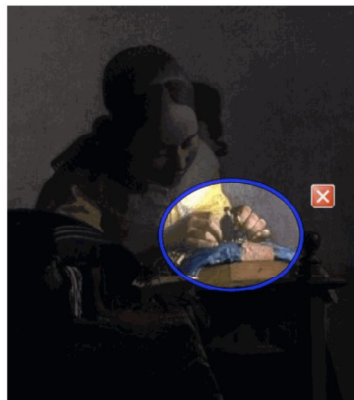


## マジックペンを利用したオブジェクトのスポットライト・ウィンドウ

マジックペンを使って、スポットライト・ウィンドウを開くことができます。

### スポットライト・ウィンドウを開くには

- 1.マジックペンをプレスします。
- 2.指かペントレイペンを使って(インタラクティブホワイトボード)あるいはタブレットの付属しているペン(インタラクティブペンディスプレイ)で、インタラクティブスクリーンで円形を描画します。  
スポットライト・ウィンドウが表示します。
- 3,サイズを小さくするには,スポットライト・ウィンドウの中心から左にドラッグします。  
あるいはサイズを大きくするには,スポットライト・ウィンドウの中心から右にドラッグします。
- 4.ウィンドウの回りを移動させるには スポットライト・ウィンドウの端の近くからドラッグします。
- 5.スポットライト・ウィンドウを閉じるためにプレスします。



## CHAPTER 4 SMART ツール

SMART Notebook には SMART レコーダー, SMART ビデオプレイヤー, スクリーンシェード, スポットライト, 拡大鏡や他のインタラクティブツールの特徴があります。

### ようこそセンター

SMART ようこそセンターは SMART 製品を使う場合の多くのツール、リソースやファイルのアクセスを可能にします。

ようこそセンターで利用可能なオプションやリンクは4個のタブに分類されています。

クイックスタート タブでオプションを使うことで、新しいファイルを作成し、既存のファイルを開き、最近アクセスした4個のタブのひとつを開き SMART 製品に適応させます。さらに SMART Notebook コントロールパネルにアクセスし SMART Notebook インターフェイスの言語を変更します。

ツール タブでオプションを使うことで、SMART レコーダー, SMART ビデオプレイヤー, SMART キーボード, フローティングツール, スクリーンシェード, スポットライト, 拡大鏡, ポインター, スクリーンキャプチャツールバーとオペレーティングシステムの標準の電卓を含む SMART ツールにアクセスすることができます。

フローティングツールバーや SMART Notebook ツールバーはカスタマイズ可能で SMART 製品をロックさせることもできます。教師用のハブ タブでオプションを使うことで 教材やレッスンの内容、ニュースレター、ケーススタディ等のオンラインリソースにアクセスすることができます。ヘルプ/サポート タブでオプションを使うことで ヘルプセンター、オンラインサポートのリクエスト、サポートセッションの開始、ソフトウェアの活性、ソフトウェア更新情報のチェックや SMART Notebook コントロールパネルにアクセスでき診断設定を変更することができます。

#### 重要

SMART テクニカルサポートから依頼されるまで診断設定は変更しないでください。

#### ようこそセンターを開くには

スマートボード アイコンをタッチして Notebook ソフトウェアにようこそを選びます。



### 注意

コンピュータが SMART のインタラクティブ製品に接続されていない場合、**スマートボードのアイコン**は右下部隅にXが表示します。

## SMART 製品のロック

SMART 製品を接続用コンピュータから通信できないようロックする事ができます。

### 全てのSMART 製品をロックするためには

作業エリアでスマートボード アイコンをタッチし **他のツール > SMART デバイスを全てロック** を選択します。

ロックされたデバイスのフローティングツールが表示されます。

### 全てのSMART デバイスのロックを解除するには

ロックされたデバイスのフローティングツールボタンをプレスします。

### 注意

マウスを繋いで、SMART デバイスのロックを解除しなければなりません。SMART インタラクティブスクリーンを使用する際に SMART 製品のロックを解除することができなくなります。

### AirLiner™ ワイヤレススレートのみをロックするには

ようこそセンターを開いて ツールタブをタッチし **AirLiner スレートのみのロック** をタッチします。

ロックされた AirLiner のフローティングツールが表示されます。

### AirLiner ワイヤレススレートのロックを解除するには

ロックされた AirLiner のフローティングツールボタンをプレスします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## SMART レコーダー

SMART レコーダーを使うとインタラクティブスクリーンで行なった動作を記録できます。コンピュータにマイクロフォンが接続されている場合はナレーションも同時に記録します。レコーディングを作成するとSMART ビデオプレイヤーやウィンドウ・メディアプレイヤーの利用可能などのコンピュータでも再生可能です。必要であれば、SMART レコーダーは隠しておく事ができますが引き続きSMART レコーダーアイコンを使ったメニューオプションにアクセスできます。

### 注意

- ・ウィンドウ・メディアプレイヤーは[www.windowsmedia.com/download](http://www.windowsmedia.com/download)から利用できます。
- ・コンピュータがSMART Notebookの最低条件を満たしているならSMARTレコーダーを利用する事ができます。しかし最高性能を発揮するには、Pentium 4 プロセッサ以上で Windows オペレーティングシステムに互換なサウンドカードとマイクロフォンをもったコンピュータにSMART Notebookをインストールしてください。

### SMART レコーダーを開始するには

SMART レコーダーボードボードをタッチしてレコーダーを選択します。

SMART レコーダーが表示されます。SMART レコーダーアイコンが作業エリア内に表示されます。

### SMART レコーダーを隠すには

SMART レコーダーでメニュー>システムトレイを表示しないを選択します。SMART レコーダーが消去します。

### SMART レコーダーを表示するには

作業エリアで SMART レコーダー アイコンをタッチし表示を選択します。SMART レコーダーが表示されます。



## レコードビデオとオーディオ音質の変更

SMART レコーダーの設定を変えてオーディオ音質とビデオ画質をコントロールすることができます。

### レコーダーのビデオとオーディオ音質を変更するには

1. SMART レコーダーでメニュー>オプションを選択します。

オプションダイアログが表示されます。

2. 音質リストで音質を選択します。

### 注意

高音質は寄り良好な音質を実現しますがファイルサイズを増やしてしまいます。

3. ビデオの画質リストからビデオ画質を選択します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)



あるいはカスタム, を選択して必要なフレームレートを入力します。

#### 注意

レコーディング品質は毎秒のフレーム数で測定されます。

高フレームレートは高品質になる一方、ファイルサイズが増大します。

#### ヒント

自動選択 (推奨) を選んだ場合、SMART レコーダーはコンピューターを評価して自動的に最善のフレームレートを選択します。

4. **OK** をプレスします。

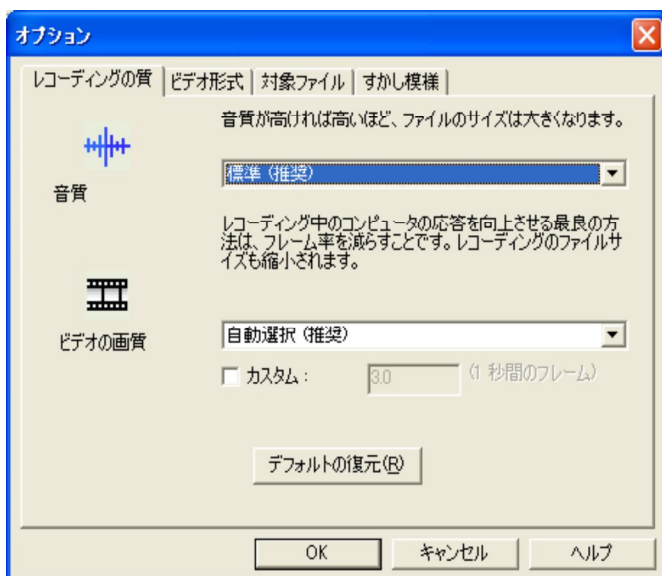
### レコーダーのビデオとオーディオ音質を初期状態に戻すには

1. SMART レコーダーで **メニュー > オプション** を選択します。

オプションダイアログが表示されます。

2. **デフォルトの復元** をタッチします。

3. **OK** をプレスします。



### ビデオ形式の変更

SMART レコーダーの設定をレコーディングのビデオ形式を選択できるように変更します。

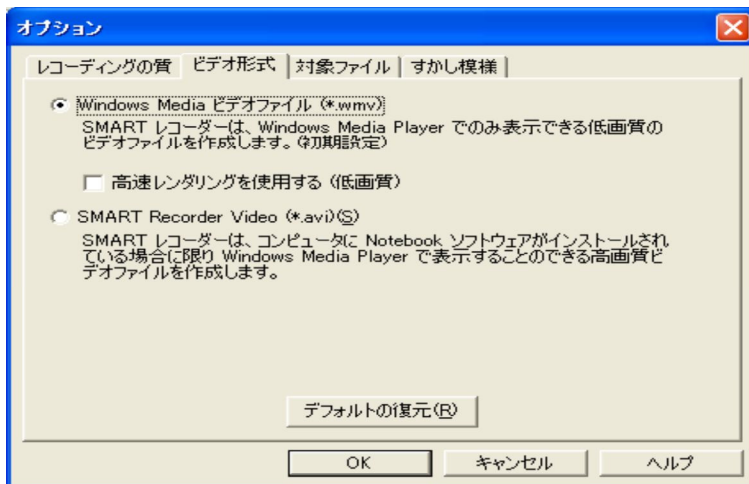
#### レコーディングのビデオ形式を変更するには

1. SMART レコーダーで **メニュー > オプション** を選択します。

オプションダイアログボックスが表示されます。

2. ビデオ形式タブをプレス

3. **ウィンドウ・メディア ビデオ (\*.wmv)** あるいは **SMART レコーダービデオ (\*.avi)** を選びます。



#### 注意

どのバージョンのウィンドウ・メディアプレイヤーでも Windows Mediaビデオファイルを再生可能です。

SMARTNotebook がインストールされていればウィンドウ・メディアプレイヤーはSMART レコーダービデオファイルも再生可能です。

4. **OK**をプレスします。

#### 初期設定のビデオ形式に戻すには

1. SMART レコーダーで**メニュー>オプション**を選択します。

オプションダイアログが表示されます。

2.ビデオ形式タブをプレス

3,**デフォルトの復元**をプレスします。

4,**OK**をプレスします。

### レコードファイルのロケーションの変更

SMARTレコーダーの設定を変更してレコーディングファイルのロケーションを選択します。

#### レコードファイルのロケーションを変更するには

1. SMART レコーダーで**メニュー>オプション**を選択します。

オプションダイアログが表示されます。

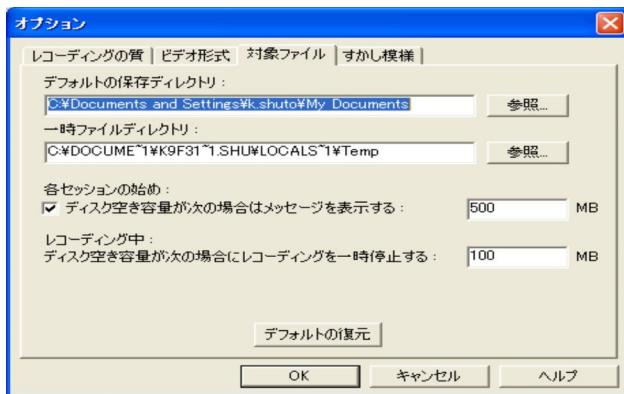
2.対象ファイルタブをプレスします。

3. SMART レコーダーがファイルを保存するフォルダーを変更するには

a.デフォルトの保存ディレクトリーボックスの横の**参照** ボタンをプレスします。

b.ファイルを保存するフォルダーを参照し選択します。

c. **OK**をプレスします。



## ヒント

最高の性能を発揮するにはネットワークドライブよりもコンピュータのハードディスクに保存します。

4. SMART レコーダーが一時ファイルを保存するフォルダーを変更するには
  - a. 一時ファイルディレクトリーボックスの横の参照 ボタンをプレスします。
  - b. 一時ファイルを保存するフォルダーを参照し選択します。
  - c. **OK**をプレスします。

## ヒント

最高の性能を発揮するにはファイルや一時ファイルをレコーディングを保存する時間を減らすために同じドライブに保存します。

5. 利用可能なディスクスペースが少なくなってきた時にSMART レコーダーにメッセージを表示するよう構成するには
  - a. **ディスクの空き容量が少なくなっている警告**チェックボックスを選択します。
  - b. ディスク空容量の制限を入力します。
6. SMART レコーダーがレコーディングを一時停止するようディスク空容量の下限を入力します。
7. **OK**をプレスします。

## レコードファイルのロケーションを初期状態に戻すには

1. SMART レコーダーで**メニュー > オプション**を選択します。  
オプションダイアログが表示されます。
2. 対象ファイルタブをプレスします。
3. **デフォルトの復元**をプレスします。
4. **OK**をプレスします。

## レコーディングにすかし模様を加える

SMART レコーダー設定にすかし模様を加えるように変更することができます。

## イメージすかし模様をレコーディングに加えるには

1. **メニュー**を選択 > SMART レコーダーのオプション

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

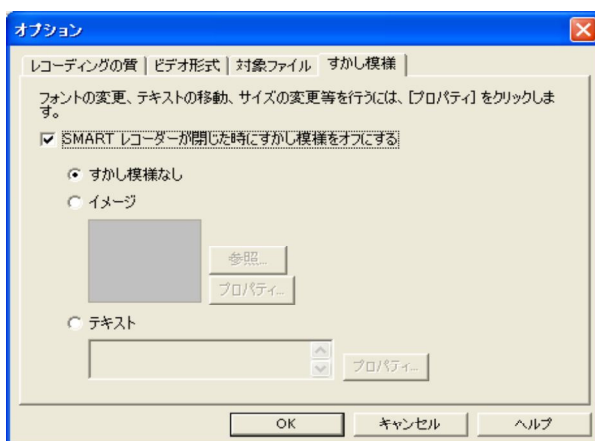
オプションダイアログボックスが表示

2. すかし模様タブをプレス
3. イメージを選択
4. ブラウザをプレス
5. 使いたいイメージをブラウジングして選択、**開く**をプレス
6. プロパティをプレス

すかし模様・プロパティ・ダイアログボックスが開きます。

選択されたイメージがプレビュー窓上で表示されます。

7. すかし模様の位置を変更するにはプレビュー窓上でプレビューイメージを他のエリアにドラッグして移動
8. すかし模様のサイズを変更するにはプレビューイメージの右下角の白円をドラッグ
9. 透明性を選択して効果を設定
10. **OK**をプレスしてすかし模様・プロパティ・ダイアログボックスを閉じる
11. もしSMART レコーダーを閉じた後で、すかし模様を無効にしたい場合 **SMARTレコーダーが閉じた時にすかし模様をオフにする**を選択
12. **OK**をタッチしてオプション・ダイアログボックスを閉じる



### テキストすかし模様をレコーディングに加えるには

1. メニューを選択 > SMART レコーダーのオプション

オプションダイアログボックスが表示

2. すかし模様タブをプレス
3. テキストを選択
4. すかし模様用のテキストを入力
5. プロパティをプレス

すかし模様・プロパティ・ダイアログボックスが開きます。

選択されたイメージがプレビュー窓上で表示されます。

6. 色、フォント及び透明度を設定
7. すかし模様の位置を変更するにはプレビュー窓上でプレビューイメージを他のエリアにドラッグして移動
8. すかし模様のサイズを変更するにはプレビューイメージの右下角の白円をドラッグ

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

- 9.すかし模様<sup>①</sup>に情報を追加するには 現在の日時 フレーム番号を追加
- 10.OKをプレスしてすかし模様・プロパティ・ダイアログボックスを閉じる

### すかし模様を無効にしたい場合は

1. SMART レコーダーでメニュー>オプションを選択します。  
オプションダイアログが表示されます。
2. すかし模様 タブをプレスします。
3. すかし模様なしを選択します。
4. OKを選択します。

## インタラクティブスクリーンの操作をレコーディング

SMART レコーダーを使用してインタラクティブスクリーンで行った操作の記録を保存できます。

このツールによってイベントをレコードし.avi あるいは .wmv 形式でビデオファイルを生成します。また日時、ロゴのすかし模様を追加できます。マイクロフォンが接続されている場合はオーディオも保存されます。スクリーン全体、特定の矩形領域、またはウィンドウを記録し、レコーディングの長さ<sup>②</sup>とフレーム率は SMART レコーダーのタイトルバーに表示されます。

### レコーディングを行なうには

1. 全スクリーンをレコーディングするにはSMART レコーダーでレコードをプレスします。  
あるいはスクリーンエリアをレコーディングするにはSMART レコーダーでレコードボタンの次にある下向きの矢印をプレスします。領域を記録<sup>③</sup>を選択して記録したいエリアを長方形で描画します。ウィンドウをレコーディングするには SMART レコーダーでレコードボタンの次にある下向きの矢印をプレスします。ウィンドウを記録<sup>④</sup>を選択して記録したいウィンドウを選択します。



### ヒント

- 1.レコーディングのファイルサイズを減らしたい場合はスクリーンやWindowに長方形の範囲にレコーディングを限定します。
- 2.マイクロフォンをコンピュータに接続している場合、スクリーン上の行動を記録します。  
SMART レコーダーはレコーディング中に記録時間を表示します。
- 3.レコーディングを一旦停止するには SMARTレコーダーの一旦停止をタッチします。  
再開するにはSMARTレコーダーのレコードをタッチします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

4. SMARTレコーダーの**停止**をタッチします

ダイアログボックスが表示されます。

#### 注意

レコーディングを保存しないで終了するには**キャンセル**をタッチします。

**はい**をプレスして削除を確認します。

5. ファイル名を入力します。

6. 別の場所に保存する場合は、新しい場所を参照します。

7. **保存**をプレスします。

SMARTレコーダーがビデオファイルを作成する一方ダイアログボックスが表示されます。

SMARTレコーダーがビデオファイルを作成した後ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスの情報にはレコーディングファイルのロケーションやファイルサイズ、レコーディング時間が含まれています。

8. ダイアログボックスを閉じてからレコーディングを見たい場合は**レコードの再生**をタッチします。

9. SMARTレコードビデオのフォーマットでのレコーディングをSMARTビデオプレイヤーを持っていないビューアーと共有したい場合は**レコーディングの共有**をタッチします。

10. **OK**をプレス

**レコード再生**を選択した場合、ファイルはデフォルトのメディアプレイヤーで再生、**レコーディング共有**を選択した場合、レコーディング共有ダイアログボックスが表示されWindowsメディアビデオファイルが自己実行型のファイルが生成されます。

#### ウィンドウ・メディアビデオファイルあるいは自動実行ファイルを作成するには

1. 上記のようにレコーディングを作成

**レコーディング共有** オプションの選択を確認します。

ダイアログボックスが表示されます。

2. **WMVを選択して** メディアビデオファイルを作り**次へ**をプレスします。

あるいは**自己実行**を生成して自己実行型のファイルを作成します。

**次に**をプレスします。

3. **次に**をプレス

4. **参照**をプレスしファイルを作成したい場所を参照しファイル名を入力、**保存**をプレスします。

5. **次に**をプレス

6. **終了**をプレス

#### レコーディングの共有

レコーディングをSMART Notebookを持っているビューアーと共有したい場合はSMARTビデオプレイヤーで稼働するSMARTレコーダービデオファイルとしてレコードを作成します。SMART Notebookを持っていないビューアーと共有したい場合はウィンドウ・メディアビデオファイルとしてレコードを作成するか自動実行型のファイルとして作成します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

### SMART レコーダービデオファイルに変更するには

1. SMART レコーダーwindowで、**メニュー** > **レコーディング**を選択  
ダイアログボックスが表示されます。
2. **WMV**を選択してウィンドウ・メディアビデオファイルを作成します。  
あるいは**自己実行**を選択して自己実行を行ないます。**次に**をタッチします。
3. **参照**をプレス
4. 変換したいSMART レコーダービデオファイルを参照して選択し、**開く**をプレスします。
5. **次に**をプレス
6. 変換されたファイルの場所と名前を変更したい場合、**参照**をプレス  
ファイルを保存したい場所を参照してファイル名を入力して**保存**をプレス
7. **次に**をプレス
8. **終了**をプレス

## SMART ビデオプレイヤー

SMART ビデオプレイヤーを使用すると、ビデオを再生したりパソコンで再生したビデオにメモを作成したり、作成したメモを Notebook ソフトウェアに取り込むことができます。

### 注意

外部機器のビデオ映像を表示する場合は、ご使用のコンピュータが Direct X バージョン 8.1 以上を実行しており、外部機器が Direct X に対応しており、ビデオキャプチャカードが Direct X に対応している必要があります。外部機器を使用しているとSMART ビデオプレイヤーはそれを検出して[ハードウェア]メニューの中に表示します。

メモを作成するときは、物理ペンを使用したり、フローティングツールのペンを使用したり、SMART ビデオプレイヤーで使用するペンツールを使用できます。

SMART ビデオプレイヤーを再生しながらメモがフェードアウトするよう設定したり、メモの作成時は再生を一時停止するよう設定できます。(ただし外部機器を使用している場合は、外部機器の一時停止ボタンも押してください。)

### SMART ビデオプレイヤーを開始するには

作業エリアで**スマートボード**アイコンをプレスしビデオプレイヤーを選択します。

SMART ビデオプレイヤーが表示されます。



## ビデオプレーヤーを使ってビデオファイルを再生

コンピュータに保存してあるファイルを実行することができます。またwebサイトやネットワークのファイルにアクセスすることができます。コンピュータが SMART のインタラクティブ製品やビデオデッキやDVD 等のビデオハードウェアに接続されている場合には SMART ビデオプレーヤーを使用しているスクリーンのビデオハードウェアソースからビデオファイルを実行します。

### 注意

ビデオデッキやDVD プレイヤーからの信号はビデオキャプチャカードを使ってコンピュータの理解できるフォーマットに変換することができます。

### ビデオファイルを実行するには

1. **ファイル > SMART ビデオプレーヤー**で**開く**をプレスし実行したいビデオファイルを参照し選択します。  
**開く**をプレスします。  
あるいはSMART ビデオプレーヤーの**ファイル > URLを開く**をタッチ,webサイトのアドレスを入力します。  
あるいは**オープン ボックス**でネットワークのパスアドレスを入力し**OK**をプレスします。  
ビデオファイルが開きSMART ビデオプレーヤー で実行されます。
2. ビデオを一時停止するには**一停止**をプレスします。
3. ビデオを再生するには**再生**をプレスします。
4. ビデオを停止するには**停止**をプレスします。
5. 実行速度を変更するには**設定 > 実行速度**を選択してリストから実行速度を選びます。

### 接続したビデオデッキあるいはDVD プレイヤーからビデオファイルを実行するには

1. SMART ビデオプレーヤーで**ハードウェア**を選択しリストでビデオハードウェアソースを選択します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)



## 注意

リストにハードウェアリソースが含まれていない場合はコンピュータとハードウェアソースの接続を確認してください。ビデオハードウェアのソース出力はSMART ビデオプレイヤー上に表示されます。

2. ビデオを一時停止するには **一時停止** をプレスします。
3. ビデオを再生するには **再生** をプレスします。
4. ビデオを停止するには **停止** をプレスします。

## ビデオフレーム越しにノートにデジタルインクで書き込むには

1. **ペンツール** をプレスしてインタラクティブスクリーンに書き込みます。
2. デジタルインクの色を変えるには、**ペンツール** をタッチしてパレットの色を選択します。
3. デジタルインクの幅を変えるには、**ペン幅** をプレスしてリストの幅を選択します。
4. 書き込みが終わったら **選択** をプレスします。

## ノートをクリアするには

**ノートをクリア** をプレスします。

## ビデオフレームのスクリーンキャプチャを撮るには

**Notebook** を **キャプチャ** をプレスする。

## ビデオディスプレイに拡張するには

**全画面表示** を選択します。

ビデオディスプレイは表示可能領域を最大に拡張します。そしてビデオプレイヤーツールバーが表示されます。このツールバーはビデオの再生や一時停止を可能にしてビデオフレームのスクリーンキャプチャを撮る事もビデオフレーム上でデジタルインクで上書きすることやクリアすることを可能にします。

全画面表示から戻るには **標準表示** を選択します。

## 注意

コンピュータのビデオカードがハードウェアアクセラレータをサポートしていない場合、200%表示や全表示にすることはできません。

## 音量を変更するには

音量を変えるにはスライドを移動させます。

音量を無音にするには **ミュートビデオ** をタッチします。

音量を元に戻すには **ミュートビデオ** を再度タッチします。

## SMART ビデオプレイヤーを閉じるには

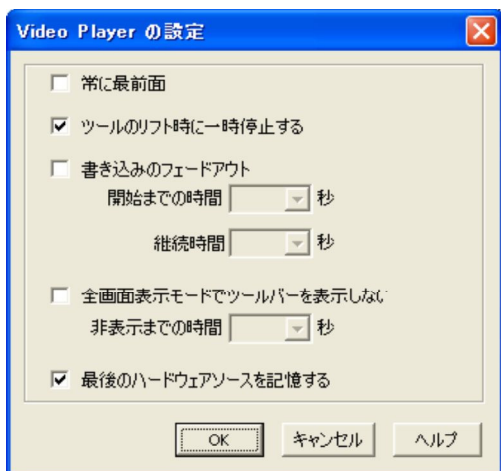
SMART ビデオプレイヤーで **閉じる** ボタンをタッチします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## SMART ビデオプレイヤーの設定変更

SMART ビデオプレイヤーの設定を変更することができます。



### SMART ビデオプレイヤーの設定を変更するには

1. SMART ビデオプレイヤーで**設定 > ビデオプレイヤー設定** を選択します。  
ビデオプレイヤー設定のダイアログが表示されます。
2. SMART ビデオプレイヤー windowを常に他のwindowの上部に表示させるには**常に最前面**を選択します。
3. ペントレイペン (ホワイトボード) を取り上げるたびに、あるいはペントレイボタン (ペンディスプレイ) を選択するたびにビデオを自動的に一時停止するには**ツールのリフト時に一時停止する**を選択します。
4. SMART ビデオプレイヤーに上書きしたデジタルノートにフェード効果を適用するには**書き込みのフェードアウト**を選択します。どのくらいSMART ビデオプレイヤーに効果を適用するか設定するには**開始までの時間**と**継続時間**リストで時間を入力します。
5. 全画面表示で何秒後かにビデオプレイヤーツールバーを隠すには**全画面表示モードでツールバーを表示しない**を選択します。ツールバーが消去する時間を設定するには**非表示までの時間**で時間を入力します。
6. 最も以前に選択されたビデオハードウェアソースを利用するには**最新のハードウェアソースを記憶**を選択します。
7. **OK**をプレスします。

## SMART ビデオプレイヤー、プレイリストの作成

SMART ビデオプレイヤーでビデオファイルのプレイリストを作成できます。プレイリストでビデオファイルを簡単に実行することができます。

### プレイリストを作成するには

1. プレイリストが隠れている場合 **表示 > プレイリストの表示**を選択します。
2. プレイリストにビデオファイルを追加するには、**プレイリスト > 追加**、を選択、ファイルを選択して**開く**をプレスします。
3. プレイリストに以前に作成したプレイリストを追加する場合は **プレイリスト > 追加**を選択します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

プレイリストを参照し選択して **開く** をプレスします。

4. プレイリストからビデオファイルを取り除く場合は **プレイリスト > 取り除く** を選択します。
5. プレイリストから全てのビデオファイルを取り除く場合は **プレイリスト > 全てを取り除く** を選択します。
6. プレイリストを再構成するにはビデオファイルを選択して **上**か**下**をプレスします。
7. プレイリストを保存するには **プレイリスト > プレイリストを保存** を選択します。

#### 過去に作成したプレイリストを開くには

1. プレイリストが隠れていれば **表示 > プレイリストを表示** を選択します。
2. **プレイリスト > 追加** を選択しプレイリストを参照し選択し**開く**をプレスします。

#### プレイリストからビデオを実行させるには

プレイリストでビデオファイルをダブルプレスします。

SMART ビデオプレイヤーはビデオファイルを実行し自動的にプレイリスト上の次のビデオファイルを再生します。

## SMART キーボード

インタラクティブスクリーンを使用しながら入力を行なうには、SMARTキーボードを使用します。

#### SMART キーボードを実行するには

作業エリアで**スマートボード** アイコンをタッチし**キーボード**を選択します。


SMART キーボードが表示されます。

## テキスト入力


入力するときは仮想キーを押します。終了したら **送信** ボタンを押してください。次のキーを使用することもできます。

- クラシック : 標準の QWERTY キーボード
- テンキー : 数字入力と計算式用
- 書き込み : 手書き文字を簡単に変換します
- ショートカット : インタラクティブスクリーンでのキーボードショートカット作成用
- Simple および Simple Caps : アルファベット順のキーを使用

#### プログラムに直接テキストを入力するには

1. SMART キーボードを開始します。
2. SMARTキーボードがテキスト編集を含んでいない場合は  をプレスし閉じます。
- 3..プログラムにテキストを入力したい場所にカーソルを置きます。
4. SMART キーボードのキーをプレスします。 .

### デジタルインクで手書き入力し、プログラム上でテキスト変換するには

1. SMART キーボードを開始します。
- 2.プログラムかダイアログボックスのにテキストを入力したい場所にカーソルを置きます。
3. SMARTキーボードがテキスト編集を含んでいない場合は  をプレスして表示します。
- 4.一覧リストで **書き込み**を選択します。
- 5.大文字か数字を書きたい場合はテキスト認識の精度を上げるように **大文字** または **数字**を選択します。
6. SMART キーボードの下半分に書き込みます。

SMART キーボードは記述を変換しテキスト編集エリアに表示します。

7. テキスト編集エリアのテキストは編集可能です。
  - テキスト編集エリアの文字を交換するには、文字を選んでSMART キーボードキーをプレスします。
  - テキスト編集エリアの文字を追加の文字を挿入するには、黒三角が新しい挿入場所を示すように2文字間にスペースを置きSMART キーボードキーをプレスします。
  - 文字を取り除くには文字を選んでバックスペースキーをプレスします。
8. **送信**をプレスします。

### SMART キーボードの外観を変更するには

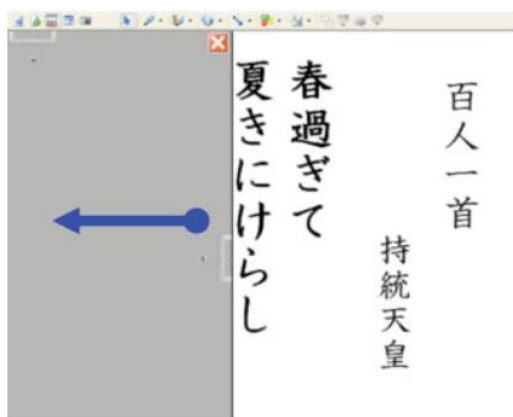
リストからクラシック、テンキー、書き込み用、ショートカット、簡易および簡易大文字を選択します。

1. SMART キーボードの設定をプレス  
キーボード設定のダイアログボックスが表示されます。
- 2.各キー打点用のサウンドを設定するために **クリック**、**スピーチ** あるいは**無音**をプレスします。
- 3.クラシックビューの数字を設定するために**106**を選択します。
- 4.書き込みビューでSMART キーボードが手書きあるいはテキスト入力の変換に費やす時間遅れを選択します。
- 5.ショートカットキーでキーの位置決めをするための**左**あるいは**右**を選択します。
- 6.SMARTキーボードを透過的に選択します
- 7.コンピュータ開始時に自動的にキーボードが表示されるようにする場合、**システムログイン用のキーボード表示**を選択します。
- 8.**OK**をプレス



## スクリーンシェードを使う

スクリーンシェードを使用すると、スクリーン上の内容を表示するときが来るまで隠しておくことができます。隠しているスクリーンを表示するには、ハンドルをスクリーンの上下または左右からドラッグします。



### スクリーンシェードを使うには

1. エリアのSMART ボードアイコンをプレスしてから **他の SMART ツール > スクリーンシェード** を選択します。
2. スクリーンシェードの片側をタッチしホワイトボードを覆うようにドラッグします。

### ヒント

スクリーン全体を覆いたい場合はスクリーンシェードをダブルプレスします。

### スクリーンシェードを取り除くには

スクリーンシェードの上部右隅の**閉じる**をプレスします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## スポットライトの利用

スポットライトを使用すると、スクリーンの一部分を照らすことができます。スポットライトを移動やサイズ変更、回転したり、スポットライトの透明度レベルを変更できます。

### 注意

スポットライトが開いている場合に、スポットライトエリアのみでスクリーン要素を使って書き込みや操作が可能です。

### スポットライトを使うには

1. 作業エリアで**SMART Board**アイコンをプレスして、**他のSMART ツール> スポットライト**を選択します。  
ハイライトされたエリアと**スポットライト**アイコンが表示されます。
2. ハイライトエリアを移動させるには**スポットライト**アイコンをプレスしてスクリーンの他のロケーションまでドラッグします。
3. スポットライトをより大きくあるいはより小さくするにはハイライトエリアの端をプレスして外向きあるいは内向きにドラッグします。
4. ハイライトエリアの形状を変えるには**スポットライト**のアイコンメニューアローをプレスして**形状**を選択しさらに**楕円**, **長方形** あるいは **星**を選択します。
5. ハイライトエリアの外側の全ての透明度を変更するには**スポットライト**のアイコンメニューアローをプレスして**透明度**を選択します。さらに透明度の割合か**非透明**を選択します。



### スポットライトを閉じるには

スポットライトのアイコンメニューアローをタッチして**完了**を選択します。

## 拡大鏡の利用

スクリーンの細部を拡大するには拡大鏡を使用します。

### 拡大鏡を使うには

1. 作業エリアで**スマートボード**アイコンをタッチして、**他のSMART ツール> 拡大鏡**を選択します。  
拡大鏡のダイアログボックスが表示されスクリーンの一部に拡大されたイメージが表示されます。
2. 拡大鏡のダイアログボックスに表示されたエリアの回りの赤い境界を表示させるには  をプレスします。  
このエリアの外側全部をシェードするには  をプレスします。
3. スクリーンの異なるエリアを拡大するには:

1. 作業エリアで**スマートボードアイコン**をタッチして、**他のSMART ツール> 拡大鏡**を選択します。  
拡大鏡のダイアログボックスが表示されスクリーンの一部に拡大されたイメージが表示されます。



をプレスし、拡大鏡のダイアログボックスの手をスクリーンの他のエリアにドラッグします。

スクリーンの他の部分で作業を継続する一方でスクリーンの一部のエリアを拡大したい場合はこのオプションを使います。あるいは



をプレスし、拡大したいスクリーンのエリアをプレスします。作業しているスクリーンのエリアを拡大したい場合はこのオプションを使います。

4. 拡大鏡のダイアログボックスを移動したい場合はタイトルバーをプレスしスクリーンの他のエリアへドラッグします。

### 拡大鏡を閉じるには

拡大鏡のダイアログボックスで**閉じる**をプレスします

## 電卓の使用

スマートボードアイコンからオペレーティングシステムのデフォルトの電卓を使用することができます。

### 電卓を使用するには

作業エリアで **スマートボードアイコン**をプレスし **他のSMART ツール> 電卓**を選択します。

## 大型ポインタの使用

インタラクティブスクリーンに大型のポインタを置き換えてスクリーンに注意を引くように設定できます。

### 大型ポインタを表示するには

1. 作業エリアで **スマートボードアイコン**をプレスし**他のSMART ツール> ポインタ**を選択します。  
大型ポインタが表示されます。
2. ポインタを移動させるにはスクリーンの他のロケーションにドラッグします。  
ドラッグする方向にポイントされます。

### 大型ポインタを取り除くには

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

ポインターをダブルプレスします。

## ツールバーを用いたスクリーンキャプチャ

スクリーンキャプチャツールバーがアクティブなプログラムやWebブラウザの上部に表示されます。これによりどのWindowのイメージのスクリーンキャプチャを撮り自動的にページにNotebookファイルを挿入することを可能にします。

### スクリーンキャプチャツールバーを使ってスクリーンキャプチャを撮るには



1. 作業エリアでスマートボードアイコンをプレスし **他のSMARツール** > **スクリーンキャプチャツールバー** を選択します。
2. デフォルトでは撮影した各スクリーンキャプチャはファイルの新しいページに表示されます。スクリーンキャプチャを現在のページに保存したい場合は**新しいページにキャプチャ**チェックボックスをクリアします。
3. エリアやwindowスクリーンのスクリーンキャプチャを撮るには

#### エリアキャプチャ



をプレスし エリアをドラッグします。

#### Windowキャプチャ



をプレスし, windowを選択します。

#### 全スクリーンキャプチャ



をプレスします。(スクリーンキャプチャツールバー)

#### フリーハンドキャプチャ



をタッチし, エリアをドラッグします。

ページにエリアのイメージ、window あるいはスクリーンが表示されます。

### スクリーンキャプチャツールバーを閉じるには

スクリーンキャプチャツールバーで **閉じる** をプレスします。










## フローティングツール


フローティングツールを使用すると、ホワイトボードがコンピュータに接続されていなくても、メモの作成や Notebook ソフトウェアへ取り込みが可能です。フローティングツールのボタンを選択し、マーカーのインクや図形などを記入、描画または作成します。ボタンを追加や削除したり、フローティングツールの外観を変更したり、別のツールセットを選択できます。

### フローティングツールバーを開くには

スマートボードアイコンをプレスして**フローティングツールを表示**を選択します。



以下の表は初期設定のフローティングツールバーの各ツールバーボタンを記載しています。

ツール	名前	動作
	選択	左タッチ
	ペン	デジタルインクでの描画
	ハイライト	デジタルインクでのハイライト
	イレーサー	デジタルインクの消去
	直線	直線の描画
	図形	図形の追加
	右タッチ	右タッチ
	キーボード	Smartキーボードの起動

ツール	名前	動作
	Notebook	.notebook ファイルの作成あるいは開く

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)






ツール	名前	動作
	取り消し	以前の動作やコマンドのやり直し
	カスタマイズ	フローティングツールバーのカスタマイズ

フローティングテーブルはフローティングツールバーに追加することのできる各ツールバーボタンの特徴を記述しています。ツールバーは最もよく使われるツールを含めるようにカスタマイズできます。

ツール	名前	動作
	クリエイティブペン	クリエイティブペンを使ったデジタルインクでの描画
	図形認識	共通図形の描画
	マジックペン	拡大またはスポットライトのオープン
	Bridgit カンファレンスソフトウェア	Bridgit カンファレンスの作成と参加
	拡大	拡大Windowのオープン
	レコーダー	SMART レコーダーの開始
	スクリーンシェード	スクリーンにスクリーンシェードの追加
	スポットライト	スポットライトWindowのオープン
	ポインター	大型ポインターの表示
	ようこそセンター	ようこそセンターのオープン

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

ツール	名前	動作
	スクリーンキャプチャ・ツールバー	スクリーンキャプチャ・ツールバーのオープン
	エリアキャプチャ	エリアのスクリーンキャプチャの撮影
	全画面キャプチャ	全画面のスクリーンキャプチャの撮影
	フリーハンドキャプチャ	フリーハンドエリアのスクリーンキャプチャの撮影
	印刷	現在のスクリーンを印刷

フローティングツールのツールバーを最小化するにはフローティングツールのツールバーで**最小化**をプレスします。ツールバーツールボタンは消去しますが**最小化**と**移動**ボタンは残ります。

#### 注意

ツールバーツールボタンを表示するには **最小化** をプレスします。

#### フローティングツールのツールバーを隠すには

作業エリアでSMART Boardアイコンをタッチして**フローティングツールを隠す**を選択します。

**最大化**や**移動**ボタンを含むフローティングツールのツールバーを消去されます。

#### フローティングツールのツールバーを表示するには

作業エリアでSMART Boardアイコンをプレスして**表示**を選択します。

#### フローティングツールのツールバーを移動するには

フローティングツールのツールバーで**移動**をプレスしてツールバーを新しいロケーションにドラッグします。

ツールバーが最大化されている場合はツールバーはディスプレイのどこでも移動が可能です。ツールバーが最小化されている場合はツールバーはディスプレイの左端にロックされます。左端に沿ってどこでも移動が可能になります。

#### フローティングツールのツールバーをカスタマイズするには

1. フローティングツールバーの**フローティングツールのカスタマイズ**をプレスします。

ダイアログボックスが表示されます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

2. ツールバーにボタンを追加するにはカスタマイズ・ダイアログボックスのアイコンをプレスしてフローティングツールにドラッグします。

#### 注意

1つ以上のペン、マジックペン、図形ペンまたはハイライトアイコンをフローティングツールに追加することが可能で、各アイコンを異なるプロパティにカスタマイズできます。例えば複数ペンアイコンを異なるデジタルインクのスタイルにカスタマイズします。

3. ツールバーからボタンを取り除くにはフローティングツール・ツールバーのアイコンをプレスしカスタマイズ・ダイアログボックスにドラッグします。

4. ボタンを再アレンジするには、フローティングツール・ツールバーのアイコンをプレスしてツールバーの新しい位置にドラッグします。

5. 行を追加するには + ボタンをプレスします。

6. 行を取り除くには - ボタンをプレスします。

#### 注意

SMART Notebook は右から最も遠い行を削除します。行に追加したアイコンも削除されます。

7. フローティングツール・ツールバーのカスタマイズが終了したら**終了**をプレスします。

### フローティングツールのツールバーを初期状態に戻すには

1. フローティングツール・ツールバーで**フローティングツールのカスタマイズ**をプレスします。

フローティングツールのカスタマイズダイアログが表示されます。

2. **デフォルトに戻る**をプレスします。

3. **完了**をプレスします。

### フローティングツールの左クリック操作

左クリックを選択するのにフローティングツールのツールバーで選択ツールを使うことができます。

#### 注意

ペンや描画ツールを使った後で**選択**ボタンをタッチします。そうであればSMART Notebookは ペンのストローク操作として認識します。

### フローティングツールで左クリックするには

1. フローティングツールバーで**選択**をプレスします。

2. インタラクティブスクリーンをプレスします。

### フローティングツールの描画操作

デジタルインクで描画するためにフローティングツールバーでペンツールを使います。

### フローティングツールで描画するには

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

1. フローティングツールバーでペンをプレスします。
2. インタラクティブスクリーンで描画します。

#### ペンフローティングツールをカスタマイズするには

1. フローティングツール・ツールバーでペンをタッチしカスタマイズをプレスします。
2. プロパティダイアログボックスが表示されます。
3. デジタルプロパティを変更します。
4. ツールプロパティの保存をプレスします。

#### 注意

同様な方法でハイライトや図形認識やマジックペンツールをカスタマイズします。

## フローティングツールのハイライト操作

デジタルインクでハイライトするためにフローティングツールバーでハイライトを使います。

#### フローティングツールでハイライトするには

1. フローティングツール・ツールバーでハイライトをプレスします。
2. ハイライトしたいスクリーンのエリアをプレスします。

## フローティングツールの削除操作

デジタルインクをイレーサーするためにフローティングツールバーでイレーサーを使います。

#### フローティングツールで削除するには

1. フローティングツール・ツールバーでイレーサーをプレスし利用可能なイレーサーのサイズを選択します。
2. イレーサーするデジタルインクをプレスします。

## フローティングツールの線描画操作

直線を描画するためにフローティングツールバーで直線ツールを使います。

#### フローティングツールで線描画するには

1. フローティングツール・ツールバーで線をプレスし利用可能な線のスタイルズを選択します。
2. スクリーン上で描画したい線の始点をプレスし終点までドラッグします。

## フローティングツールの図形描画操作

スクリーンに図形を追加するためにフローティングツールバーで図形ツールを使います。

#### フローティングツールで図形描画するには

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

1. フローティングツール・ツールバーで**図形**をプレスし図形を選択します。
2. スクリーン上で図形を配置し希望のサイズまでドラッグします。

## フローティングツールの右クリック操作

右クリックをするためにフローティングツールバーで右クリックを使います。

### フローティングツールで右クリックするには

1. フローティングツールバーで**右クリック**をタッチします。
2. インタラクティブスクリーンをプレスします。

## フローティングツールの取り消し操作

以前の操作を取り消すためにフローティングツールバーで取り消しツールを使います。

### フローティングツールで最後の操作を取り消すには

1. フローティングツールバーで**取り消し**をプレスします。

#### 注意

以前の操作を取り消す場合、**取り消し**ボタンを再度プレスすることでやり直しができます。

## カンファレンスの挿入とBridgit ソフトウェア

Bridgit カンファレンスソフトウェアはクライアント/サーバー型のプログラムで誰とでも情報の共有を可能にします。

#### 注意

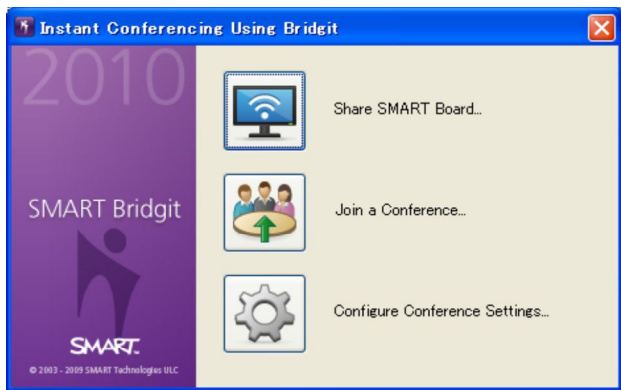
Bridgit カンファレンスソフトウェアを使った設置、構成等については Bridgit ソフトウェア製品ドキュメントを参照してください。

### Bridgit ソフトウェアカンファレンスを作成するには

1. **SMART Board** アイコンをプレスしてインスタント会議を選択します。  
Bridgit window **インスタント会議**が表示されます。
2. **SMART Boardを共有**をクリック  
ダイアログボックスが表示されます。
3. カンファレンス名を入力
4. パスワードを入力し確認します。
5. カンファレンス参加の名前はインタラクティブ製品に登録する名前を入力します。
6. **OK**をプレス  
デスクトップ共有が可能になります。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)



### カンファレンスに参加するには

- 1.スマートボードアイコンをタッチして**インスタント会議**を選択します。  
Bridgitを利用したインスタントカンファレンスが表示されます。
- 2.**会議に参加**をプレス  
Bridgit カンファレンスソフトウェアwindowが表示されます。
3. 参加するカンファレンスを選択し**参加**をプレスします。

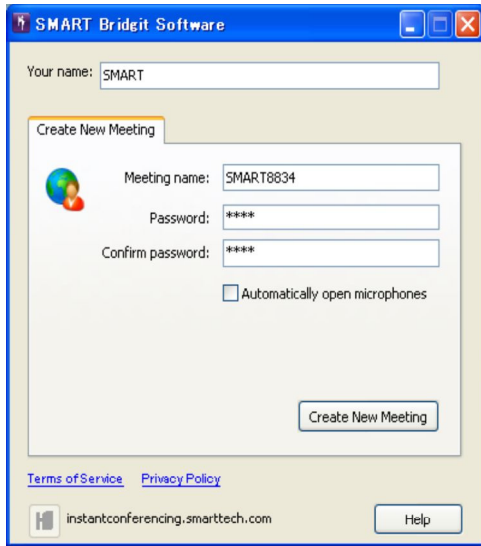
### カンファレンスの設定を構成するには

- 1.スマートボードアイコンをタッチして**インスタント会議**を選択します。  
Bridgit windowを使ったインスタントカンファレンスが表示されます。
- 2.**会議構成設定**をプレス  
自動更新用ダイアログボックスが表示されます。
- 3.**サーバー名**を入力
- 4.**アカウント名とアカウントパスワード**を入力

#### 注意

会議用のサーバーにBridgit サーバーソフトウェアがインストールされている場合にはアカウント名とパスワードの入力は必要ありません。

5. **OK**をプレス







## CHAPTER 5 コントロールパネルの設定

SMART Notebookのコントロールパネルを使ってSMART Notebook とスマートボードの実行環境をカスタマイズすることができます。コントロールパネルでペン、イレーサー、ボタン設定、校正/調整精度、ビデオ出力の配置等を含むSMARTのハードウェア設定を変更します。また、コントロールパネルを使ってInk Awareのプレファレンスを閲覧したりインタラクティブスクリーンを調整したり、あるいは言語設定の変更をしたり、携帯やワイヤレスデバイスとの接続を行なうことができます。

### コントロールパネルを開くには

スクリーンでスマートボードアイコンをタッチしてコントロールパネルを選びます。



### SMART ハードウェア設定の変更

SMART Notebookのコントロールパネルでペン、イレーサー、ボタン設定、校正/調整精度、ビデオ出力の配置等を含むSMARTのハードウェア設定を変更します。

#### ペン設定を変更するには

1. SMART Notebook コントロールパネルを開きます。

コントロールパネルが表示されます。

2. **SMART ハードウェアの設定**をプレスします。

コントロールパネルの上部に SMART製品がコンピュータに接続されているイメージが表示されます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

- 2台以上のSMART製品がコンピュータに接続されている場合、コントロールパネルの上部に各SMART製品のイメージが表示されます。設定を変更する製品のイメージをプレスします。
- リスト上の **ペンとボタンの設定** を選択します。
- ペンツールボタンをプレスしてペンをカスタマイズします。(ホワイトボード)あるいはペンツールボタンをプレスして色をカスタマイズします。(ペンディスプレイ)  
ダイヤログボックスが表示されます。
- 色、太さ、線の始点と終点、線種、透明度を調整します。
- 設定を保存するには**ツール設定の保存**をプレスします。
- 他のペン(ホワイトボード)を調整したい場合はステップ5から7までを繰り返します。他のペンツールボタン(ペンディスプレイ)も同様です。
- OK**をタッチしてコントロールパネルを閉じます。



### イレーサー設定を変更するには

- SMART Notebook コントロールパネルを開きます。  
コントロールパネルが表示されます。
- SMART ハードウェアの設定**をプレスします。  
コントロールパネルの上部に SMART製品がコンピュータに接続されているイメージが表示されます。
- 2台以上のSMART製品がコンピュータに接続されている場合、コントロールパネルの上部に各SMART製品のイメージが表示されます。設定を変更する製品のイメージをプレスします。
- リスト上の **ペンとボタンの設定** を選択します。
- イレーサーの設定**をプレスします。
- OK**をプレスして設定を保存します。
- OK**をプレスしてコントロールパネルを閉じます。

### ボタン設定を変更するには

- SMART Notebook コントロールパネルを開きます。  
コントロールパネルが表示されます。
- SMART ハードウェアの設定**をプレスします。  
コントロールパネルの上部に SMART製品がコンピュータに接続されているイメージが表示されます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

3. 2台以上のSMART製品がコンピュータに接続されている場合、コントロールパネルの上部に各SMART製品のイメージが表示されます。設定を変更する製品のイメージをプレスします。
4. リスト上の **ペンとボタンの設定** を選択します。
5. **ボタンの設定** をプレスします。
6. 各ボタンを選択してカスタマイズすることができます。
7. **OK** をプレスして設定を保存します。
8. **OK** をプレスしてコントロールパネルを閉じます。

## 校正/調整精度の変更

### 校正/調整精度を変更するには

1. SMART Notebook コントロールパネルを開きます。  
コントロールパネルが表示されます。
2. **SMART ハードウェアの設定** をプレスします。  
コントロールパネルの上部に SMART製品がコンピュータに接続されているイメージが表示されます。
3. 2台以上のSMART製品がコンピュータに接続されている場合、コントロールパネルの上部に各SMART製品のイメージが表示されます。設定を変更する製品のイメージをプレスします。
4. リスト上の **精度調整の設定** を選択します。
5. 精度調整レベルを選択します。
  - クイック調整は最も汎用的に調整され4個の調整ポイントを使います。  
最短で再調整をおこなう場合はクイック調整を行いません。
  - 標準調整は若干高い精度レベルに調整され9個の調整ポイントを使います。
  - ワイド調整はワイド画面用の精度レベルに調整され12個の調整ポイントを使います。
  - 良質調整はプログラムが必要とする高い精度レベル用に調整され20個の調整ポイントを使います。

### 注意

ある製品では数個の調整レベルが利用できない場合もあります。

**OK** をプレスしてコントロールパネルを閉じます。

## マウス設定の変更

マウスと同様にSMARTのインタラクティブ製品は入力デバイスとして機能します。インタラクティブスクリーンに接触する方法も含めてカスタマイズできるようにSMARTハードウェア設定を変更することができます。

### マウス設定を変更するには

1. SMART Notebookコントロールパネルを開きます。  
コントロールパネルが表示されます。
2. **SMART ハードウェアの設定** をプレスする

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

コントロールパネルの上部に SMART製品がコンピュータに接続されているイメージが表示されます。

3. コンピュータが1台以上の SMART製品と接続されている場合、コントロールパネルの上部に各SMART製品のイメージが表示されます。設定を変更したい製品のイメージをプレスします。

4. リストの**マウス設定**を選択します。

5. より簡単にあるいは細かくダブルクリックの範囲を変更するようにスライドを移動させます。

6. チェックボックスを選択して以下の特徴を活性化します。

- **マウスアシストを有効にする**はより簡単にスクロールバー、**クローズ**ボタンおよびその他のプログラムボタンを使用するようにします。

- **ホバーを有効にする**はスクリーンがDViTテクノロジーを使用している場合にスクリーン面付近でマウス操作（ホバー状態）においてマウスポインターアイコンを表示させることを可能にします。

- **マルチタッチモード**はマルチタッチ機能を有効にします。

（スクリーンがDViT™テクノロジーと3台以上のカメラを使用している場合）

- **マルチタッチジェスチャを有効にする**は2本の指を使って右クリック、ミドルクリックおよびスクロールの動作を可能にします。（スクリーンがDViT™テクノロジーを使用している場合）

- **シングルタッチジェスチャを有効にする**はスクリーンに接触したまま維持することで右クリックメニューの表示を可能にします。

- **ポップアップメッセージを有効にする**は右タッチや「インクの復元」のようなメッセージを有効にします。

7. **OK**をプレスしてコントロールパネルを閉じます。

## タッチ認識の有効化

### 注意

これは2009年以降に購入されたSMART Board 600シリーズのインタラクティブホワイトボードのみに利用可能な特徴です。タッチ認識はペンをトレイペンから取り上げて書き出し、ペンをペントレイに戻さなくても「選択」したり「消去」したりすることを可能にします。SMART Notebookは接触エリアのサイズを基にタッチ操作の違いを識別します。タッチ認識精度はスクリーンを圧着するスタイルに合わせるようにカスタマイズします。

### インタラクティブホワイトボードがタッチ認識をサポートしているかどうか判断するには

1. コントロールパネルを開きます。

コントロールパネルが表示されます。

2. **SMART ハードウェア設定**をプレスする

コントロールパネルの上部に SMART製品がコンピュータに接続されているイメージが表示されます。

3. コンピュータが1台以上の SMART製品と接続されている場合、コントロールパネルの上部に各SMART製品のイメージが表示されます。設定を変更したい製品のイメージをプレスします。

4. リストの**ハードウェア情報と設定**を選択します。

5. シリアル番号を含むこのページの情報はインタラクティブホワイトボードのコントローラ用です。

シリアル番号がFで終わっている場合、インタラクティブホワイトボードはタッチ認識をサポートしています。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

## 注意

コントローラ用のシリアル番号はインタラクティブホワイトボード自身のシリアル番号と同じものではありません。  
タッチ認識を有効にするには

1. コントロールパネルを開きます。

コントロールパネルが表示されます。

2. **SMART ハードウェア設定**をタッチする

コントロールパネルの上部に SMART製品がコンピュータに接続されているイメージが表示されます。

3. コンピュータが1台以上の SMART製品と接続されている場合、コントロールパネルの上部に各SMART製品のイメージが表示されます。設定を変更したい製品のイメージをプレスします。

4. リストの**マウス設定**を選択します。

5. **タッチ認識を有効にする**チェックボックスを選択します。

## 注意

タッチ認識を無効にするには **タッチ認識を有効にする**チェックボックスをクリアにします。

6. SMART Notebookがどのようにタッチ操作を識別するかの設定を変更したい場合はタッチ認識を有効にするをプレスして以下の様にスライドを移動させます。

a. 左スライドを右に移動させることで SMART Notebookはデジタルインクを消せるように接触領域をより広域に解釈します。

b. 右スライドを左に移動させることで SMART Notebookはデジタルインクで描画できるように接触領域を広域に解釈します。

c. ペントレイペンを取り上げてペンや指や手のひらでスライドの下の四角形の中をタッチします。

タッチ機能が個々のスクリーンの圧着の仕方に適切に調整されていれば、ペンで書き込み、指で選択し、手のひらで消すことができます。

## 注意

**タッチ認識を有効にする**をリセットするには**デフォルト**をプレスします。

d. **OK**をプレスして設定を保存します。

7. **OK**をプレスしてコントロールパネルを閉じます。

## ビデオ出力の配置の変更

複数のインタラクティブスクリーンに渡ってコンピュータイメージを切り離したり、広げたりする場合、ビデオ出力をどのように配置するかを含めてSMART ハードウェア設定を変更しなければなりません。

### ビデオ出力の配置を変更するには

1. コントロールパネルを開きます。

コントロールパネルが表示されます。

2. **SMART ハードウェア設定**を選択

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

3.コントロールパネルの上部に 各SMART 製品のイメージが表示されます。設定を変更したい製品のイメージをタッチします。

4. リストの**ビデオ出力の配置**を選択します。

5. **ビデオ出力の配置を上書きする**を選択します。

#### 注意

このオプションを無効にするには**ビデオ出力の配置を上書きする**チェックボックスをクリアします。

6.ビデオ出力配置で利用したい**行と列数**を選択します。この方法で同じコンピュータ上で複数のSMART インタラクティブ製品を動作させることができます。2台以上のインタラクティブスクリーンに表示内容を分散させたり、別々のプログラムやWindowを表示させることができます。

7. **マルチタッチモード**を有効にします。

8. インタラクティブ製品を校正します。

## 詳細設定の変更

DViT テクノロジーを使った SMART 製品の場合、ボードの画面方向の設定を変更可能です。水平(ランドスコープ)から垂直(ポートライト)モード及び垂直から水平モードに校正を変更します。

#### 重要

SMARTテクニカルサポートから依頼されるまで高等な設定の変更はしないでください。

#### 注意

ポートライトイメージを回転させて正確にディスプレイに適合させるにはスクリーン回転用のソフトウェアが必要になるかも知れません。

## アイコンストリップの設定

製品のツールストリップ、ディスプレイコントロールストリップ、カスタムアイコンのストリップをセットアップできます。アイコンストリップはディスプレイへのアクセスや書き込みや描画の機能をより容易にします。SMART ハードウェアの設定でアイコンストリップの操作をカスタマイズできます。いつでもアイコンの動作とアイコンストリップの再配置や再移動を変更することができます。

### アイコンストリップの設定をするには

1. インタラクティブ製品の端にある黒い境界の内側のツールチップやカスタムアイコンチップの位置を定めます。

#### ヒント

インタラクティブホワイトボードのフレームにツールストリップの端が整列しているか確認してください。

2. コントロールパネルを開きます。コントロールパネルが表示されます。

3. **SMART ハードウェア設定**をプレス

コントロールパネルの上部に 各SMART製品のイメージが表示されます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

4. コンピュータが1台以上の SMART製品と接続されている場合、コントロールパネルの上部に各SMART製品のイメージが表示されます。設定を変更したい製品のイメージをプレスします。

5. ドロップダウンリストから**アイコンストリップの設置**を選択

6. **追加**をプレス

利用可能なストリップダイアログボックスが表示されます。

7. **ツールストリップ**あるいは**カスタムアイコンストリップ**を選択して**OK**をタッチし目盛り付きスクリーンを表示させます。

8. オンスクリーンのインストラクションに従ってアイコンストリップの隅を位置決めします。

9. ツールストリップをセットアップする場合 **OK**をタッチしてコントロールパネルを閉じます。

カスタムアイコンストリップをセットアップする場合利用可能なツールが表示されます。これらのツールは**起動、一般、ツール、及び ディスプレイ**の4つのタブに分類されます。

a. **利用可能なツール**リストのツールをアイコンストリップに加えたい場合、該当のアイコンを選択し**追加**をプレスして**現在のツールバー**リストへ移動させます。

b. **利用可能なツール**リストに含まれていないプログラムボタンをアイコンストリップに加えたい場合、該当のアイコンを選択し **参照**をタッチしプログラムの実行ファイルを選択し**開く**をプレスします。

c. ハイパーリンクをアイコンストリップに加えたい場合、**Webサイトへ行く**を選択しアドレスを入力して**OK**をプレスします。

d. **現在のツールバー**リストからアイコンを再移動するにはアイコンを選んで**削除**をプレスします。

e. ツールの順番を再アレンジするには **現在のツールバー**リストにあるツールを選択し**上に移動**または**下に移動**をプレスします。

f. **OK**をプレスして選択を確認します。

g. **OK**をプレスしてコントロールパネルを閉じます。

## 注意

– 最大11 アイコンを**現在のツールバー**リストに含むことができます。

– アイコンの動作はいつでも変更可能です。

ドロップダウンリストから**アイコンストリップのセットアップ**を選択し**編集**をプレスします。

– アイコンの配置をいつでも変更可能です。

ドロップダウンリストから**アイコンストリップのセットアップ**を選択し**ストリップの配置**をプレスします。

## アイコンストリップを取り除くには

1. 物理的にストリップを取り除きます。

2. コントロールパネルを開きます。

コントロールパネルが表示されます。

3. **SMART ハードウェア設定**をプレス

コントロールパネルの上部に 各SMART製品のイメージが表示されます。

4. コンピュータが1台以上の SMART製品と接続されている場合、コントロールパネルの上部に各SMART製品のイメージが表示されます。設定を変更したい製品のイメージをプレスします。

5. リストのアイコンストリップのセットアップを選択します。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)



6. 取り除きたいストリップを選択します、
7. **取り除く**をプレス
8. **OK**をプレスしてコントロールパネルを閉じます。

## Ink Aware プログラムリストの閲覧

インタラクティブスクリーンでデジタルインクで描画した場合、保存の方法はプログラムがInk Awareかどうかによって異なります。プログラムがInk Awareであれば、ノートテキストとして、描画をイメージとしてプログラムに挿入することが可能です。



### Ink Aware プログラムリストを閲覧するには

1. SMART Notebook コントロールパネルを開きます。  
コントロールパネルが表示されます、
2. **SMART ツールの構成**をプレスします。
3. **Ink Awareプログラムの設定**をプレスします。

Aware ウィンドウが表示されます。

**アウェアが有効のカラム**でチェックマークが表示されればプログラムは現在Ink Awareが有効になっています。プログラムがオープンされていれば、**状態のカラム**に**実行しています**が表示されます。



### Ink Aware を無効にするには

1. SMART Notebook コントロールパネルを開きます。  
コントロールパネルが表示されます、
2. **SMART ツールの設定**をプレスします。
3. **Ink Awareプログラムの設定**をプレスします。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

Aware windowが表示されます。

**アウェアが有効のカラム**でチェックマークが表示されればプログラムは現在Ink Awareが有効になっています。プログラムが開いていれば、状態のカラムに**実行しています**が表示されます。

4. Ink Awareを無効にするには **アウェアが有効のカラム**のチェックボックスをクリアにします。
5. 全てのソフトウェアプログラムのInk Awareを無効にするには **すべてクリア**のボタンをプレスします。
6. **OK**をプレス

#### 注意

全てのソフトウェアプログラムのInk Awareを有効にするには **すべて選択**をプレスします。

## インタラクティブスクリーンの校正

インタラクティブスクリーンをプレスする際に正確に反応させるように SMART Notebookを校正および調整をしなければなりません。校正はスクリーンに表示されたターゲットに確実にまた正確にタッチする簡単なプロセスです。インタラクティブスクリーンは出荷時に校正されていますが再度校正することで精密度を上げることができます。

#### インタラクティブスクリーンの校正を調整するには

1. SMART Notebook コントロールパネルを開いて**SMART製品の校正ボタン**をタッチします。  
ターゲットがスクリーンに表示されます。
- 2.スクリーンに表示された順番で各ターゲットの中心をタッチします。  
コンピュータはスクリーン表面から指やペンを離れた時のスクリーンの点を登録します。  
校正手順は選択する校正/調整精度によって4,9,12,20のタッチングターゲットを含んでいます。

#### 注意

効果的にスクリーンを調整するには各ターゲットの近くを指かペンでタッチし各ターゲットの中心までスライドさせてから離します。指あるいはペンはスクリーンに対して正しい角度を維持します。

再校正は、2つのペントレイボタンを同時にタッチするか、キーボードの左矢印キーでターゲットを再校正できます。校正手順を終了する前に調整を終えるにはESCをタッチします。そうでなければ最後のターゲットをタッチするまで校正スクリーンは閉じません。

## 言語の変更

SMART Notebook インターフェイスの言語を変更できます。リスト上に言語が表示されない場合、言語ファイルを追加することができます。

#### 言語を変更するには

1. SMART Notebookコントロールパネルを開きます。  
コントロールパネルが表示されます。

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

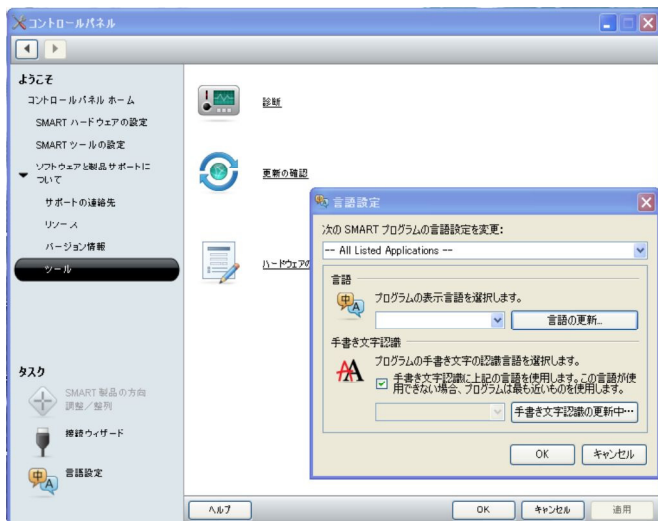
2. **言語の設定**をプレスします。

言語設定のダイアログボックスが表示されます。

3. すべての**リストされたアプリケーション**を選択しリスト上の全てのプログラム用の言語を変更します。あるいはリストのプログラムを選択してプログラム用の言語を選択します。

4. リストの言語を選択

5. **OK**をプレスします。



## インターネットから言語をダウンロードしてインストールするには

1. SMART Notebookコントロールパネルを開きます。

コントロールパネルが表示されます。

2. **言語の設定**をプレスします。

言語設定のダイアログボックスが表示されます。

3. **言語の更新**を選択します。

4. 言語あるいは更新したい言語を選択し**更新用にチェック**をプレスします。

コンピュータはファイルをダウンロードし、SMART Notebookは自動的にファイルをインストールし言語設定変更が終わった旨のメッセージが表示されます。

5. **OK**をプレスし言語の設定ダイアログを閉じます。

6. **OK**をプレスしコントロールパネルを閉じます。

## チャプター6 トラブルシューティング

### SMART Notebookのアップデート

SMART Notebookは月に一度[www.smarttech.com](http://www.smarttech.com) から自動的に更新をチェックしています。チェックの頻度は設定することができ、マニュアルでも可能です。

#### 注意

これらの操作はインターネット接続が必要です。

#### 自動アップデートの設定を変更するには

1. ようこそセンターを開きます。
2. ヘルプ/サポートタブをプレス
3. **更新の確認をチェック**をプレス  
SMART製品の更新ダイアログが表示されます。
4. **更新を自動でチェックの全てのリスト**で更新チェックの頻度を選択します。
5. SMART 製品更新ダイアログボックスを閉じるには**閉じる**をプレスします。

#### マニュアルでSMART Notebookの更新を行なうには

1. ようこそセンターを開きます。
2. ヘルプ/サポートタブをプレス
3. **更新の確認をチェック**をプレス  
SMART製品の更新ダイアログが表示されます。
4. **Notebook ソフトウェア**を選択、**更新**をプレス
5. SMART 製品更新ダイアログボックスを閉じるには**閉じる**をプレスします。

## トラブルシューティングの問い合わせ

SMART 技術サポートへの問い合わせ

すべての SMART 製品では、ファックス、および電子メールサポートが利用できます。

所在地 〒101-0033 東京都千代田区神田須田町 2 丁目 2 5 番地 山崎須田町ビル3F

電話番号 TEL:03-5298-8886 FAX:03-5298-8887

電子メール: [support@smarttech.com](mailto:support@smarttech.com)

ご登録

ご登録カードがお買い求めいただいた SMART 製品に付随しています。お客様へよりよいサービスの提供を可能にするため、このカードに記入して日本スマートテクノロジーズ株式会社へ郵送してください。

フィードバックの送信

当社製品のマニュアル改善のため、お客様のご意見をお待ちしております。

[support@smarttech.com](mailto:support@smarttech.com)へ電子メールをお送りください。

# 索引

## A

[AirLiner™ ワイヤレススレートのみをロックするには](#)

[AirLiner ワイヤレススレートのロックを解除するには](#)

## B

[Bridgit ソフトウェアカンファレンスを作成するには](#)

## E

[e-mailメッセージにファイルを添付するには](#)

[e-mailメッセージにPDFファイルを添付するには](#)

## H

[HTMLファイルとして自動的にファイルをエクスポート](#)

[HTMLファイルとしてエクスポート](#)

## I

[Ink Aware プログラムリストを閲覧するには](#)

[Ink Aware を無効にするには](#)

## P

[PDFファイルとしてエクスポート](#)

[PDFファイルとして自動的にファイルをエクスポート](#)

[PowerPoint ファイルとしてエクスポート](#)

[PowerPoint ファイルをインポートするには](#)

[PowerPoint ファイルとして自動的にファイルをエクスポート](#)

## S

[SMART キーボードの外観を変更するには](#)

[SMART キーボードを実行するには](#)

[SMARTレコーダーを開始するには](#)

[SMARTレコーダーを隠すには](#)

[SMARTレコーダーを表示するには](#)

[SMART ドキュメントカメラからイメージを挿入するには](#)

[SMART レコーダービデオファイルに変更するには](#)

[SMART Notebook Windowを開くには](#)

[SMART Notebook ツールバーをカスタマイズするには](#)

[SMART Notebook ツールバーの初期設定に戻すには](#)

[SMART Notebook ツールバーを移動するには](#)

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

[SMART Notebook ツールバーを使ってページを挿入するには](#)

[SMART Notebook プリントキャプチャでファイルをインポートするには](#)

[SMART ビデオプレイヤーを開始するには](#)

[SMART ビデオプレイヤーを閉じるには](#)

[SMART ビデオプレイヤーの設定を変更するには](#)

W

[Web ページにリンクを張るには](#)

あ

[アイコンストリップを設定するには](#)

[アイコンストリップを取り除くには](#)

[アイテムまたはサブカテゴリーの名前を変更するには](#)

[新しいファイルを作成](#)

[新しいファイルを保存するには](#)

[移動と回転が可能ないようにオブジェクトをロックする](#)

[イメージファイルとして自動的にファイルをエクスポート](#)

[イメージファイルとしてエクスポート](#)

[イメージすかし模様をレコーディングに加えるには](#)

[イレーサー設定を変更するには](#)

[インタラクティブスクリーンの校正を調整するには](#)

[インターネットから言語をダウンロードしてインストールするには](#)

[インタラクティブホワイトボードはタッチ認識をサポートしているかどうか判断するには](#)

[インタラクティブスクリーン上で描画するには](#)

[インタラクティブスクリーンに描画するには](#)

[ウィンドウ・メディアビデオ・ファイルあるいは自動実行ファイルを作成するには](#)

[大型ポインターを表示するには](#)

[大型ポインターを取り除くには](#)

[オブジェクトにリンクを追加するには](#)

[オブジェクトからリンクを外すには](#)

[オブジェクトにサウンドファイルを追加するには](#)

[オブジェクトからサウンドファイルを取り除くには](#)

[オブジェクトをアニメーション化するのは](#)

[オブジェクトを選択するには](#)

[オブジェクトをグループ化するには](#)

[オブジェクトのロックを解除するには](#)

[オブジェクトのサイズを変更するには](#)

[オブジェクトを回転させるには](#)

[オブジェクトを反転させるには](#)

[オブジェクトを切り取り貼付けるには](#)

[オブジェクトをコピーして貼付けるには](#)

[オブジェクトのクローンを作るには](#)

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

[オブジェクトの無限クローンを作るには](#)  
[オブジェクトのプロパティを変更するには](#)  
[オブジェクトにプロパティを適用するには](#)  
[オブジェクトを表に追加するには](#)  
[オブジェクトを削除するには](#)  
[オンラインコンテンツからコンテンツをインポートするには](#)  
[音量を変更するには](#)

か

[ガイドラインを表示するには](#) [拡大鏡を使うには](#)  
[拡大鏡を閉じるには](#)  
[拡大ウィンドウを開くには](#)  
[過去に作成したプレイリストを開くには](#)  
[カンファレンスに参加するには](#)  
[カンファレンスの設定を構成するには](#)  
[ギャラリーにサブカテゴリを追加するには](#)  
[ギャラリーを開くには](#)  
[ギャラリーを移動するには](#)  
[ギャラリーの幅を広げるには](#)  
[ギャラリーを自動的に隠すには](#)  
[ギャラリーを参照するには](#)  
[ギャラリーを検索するには](#)  
[ギャラリーにオブジェクトを追加するには](#)  
[ギャラリーにページを追加するには](#)  
[ギャラリーコレクションをインポートするには](#)  
[ギャラリーコレクションをエクスポートするには](#)  
[行のサイズを変更するには](#)  
[行を削除するには](#)  
[行を追加するには](#)  
[行を選択するには](#)  
[既存のファイルを保存するには](#)  
[グラフィックファイルを挿入するには](#)  
[グラフィックの一部を透明化するには](#)  
[グループ化を解除するには](#)  
[グループを作成あるいは編集するには](#)  
[現在のページにリンクを表示するには](#)  
[言語を変更するには](#)  
[校正/調整精度を変更するには](#)  
[異なるサブディレクトリにギャラリーを移動するには](#)  
[コントロールパネルを開くには](#)

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)



さ

[最後の操作を取り消すには](#)

[初期設定のビデオフォーマットに戻すには](#)

[自動ファイルエクスポートをキャンセルするには](#)

[自動更新の設定を変更するには](#)

[自動ファイル保存をキャンセルするには](#)

[シンボルを挿入するには](#)

[すかし模様を無効にしたい場合は](#)

[スキャナーから画像を挿入するには](#)

[図形認識ツールを使って図形を描画するには](#)

[スクリーンキャプチャツールバーを使ってスクリーンキャプチャを撮るには](#)

[スクリーンキャプチャツールバーを閉じるには](#)

[スクリーンシェードを使うには](#)

[スクリーンシェードを取り除くには](#)

[スポットライトを使うには](#)

[スポットライトを閉じるには](#)

[スタックの前面にオブジェクトを移動するには](#)

[スタックの背面にオブジェクトを移動するには](#)

[スタックの最前面にオブジェクトを移動するには](#)

[スタックの最背面にオブジェクトを移動するには](#)

[スペルをチェックするには](#)

[スポットライト・ウィンドウを開くには](#)

[全てのSMART 製品をロックするためには](#)

[全てのSMART デバイスのロックを解除するには](#)

[接続したビデオデッキあるいはDVD プレイヤーからビデオファイルを実行するには](#)

[セルを選択するには](#)

[セルを取り除くには](#)

[セルを統合するには](#)

[セルまたは複数セルにシェードを追加するには](#)

[セルからシェードを取り除くには](#)

た

[タッチ認識を有効にするには](#)

[単一画面を表示するには](#)

[直線を描画するには](#)

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

[チームコンテンツに接続するには](#)  
[手書き文字をテキストに変換するには](#)  
[テキストを編集するには](#)  
[テキストすかし模様をレコーディングに加えるには](#)

[添付タブを開くには](#)  
[添付タブを移動するには](#)  
[添付タブの幅を広げるには](#)  
[添付タブを自動的に隠すには](#)  
[添付タブの項目を開くには](#)  
[テーマを適用するには](#)  
[テーマを取り除くには](#)  
[テーマを作成するには](#)  
[電卓を開始するには](#)  
[デジタルインクを削除するには](#)  
[デジタルインクで手書き入力し、プログラム上でテキスト変換するには](#)  
[取り消しコマンドで取り消した操作をやり直すには](#)

な

[2画面を表示するには](#)  
[ノートをクリアするには](#)  
[ノートを保存するには](#)

は

[背景を単色に変更するには](#)  
[背景を取り除くには](#)  
[配置されたオブジェクトをロックするには](#)  
[ビデオ出力の配置を変更するには](#)  
[ビデオファイルを実行するには](#)  
[ビデオフレーム越しにノートにデジタルインクで書き込むには](#)  
[ビデオフレームのスクリーンキャプチャを撮るには](#)  
[ビデオディスプレイに拡張するには](#)  
[左クリックするには](#)  
[表を挿入するには](#)  
[表を描画するには](#)  
[表からオブジェクトを削除するには](#)  
[表を選択するには](#)  
[表にシェードを追加するには](#)  
[表からシェードを取り除くには](#)  
[表を移動するには](#)

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

[表、行、列、セルあるいは複数セルのプロパティを変更するには](#)  
[表のサイズを変更するには](#)

[ファイルを全画面に表示するには](#)

[ファイルを開くには](#)

[ファンシーペンツールを使ってフリーハンドでオブジェクトを作成するには](#)

[ファイルを別名で保存するには](#)

[ファイルを自動的に保存するには](#)

[ファイルあるいはページを印刷するには](#)

[ファイルのコピーを添付するには](#)

[ファイルのショートカットを添付するには](#)

[フェードするオブジェクトを作成するには](#)

[フローティングツールバーを開くには](#)

[フローティングツールのツールバーを最小化するには](#)

[フローティングツールのツールバーを隠すには](#)

[フローティングツールのツールバーを表示するには](#)

[フローティングツールのツールバーを移動するには](#)

[フローティングツールのツールバーをカスタマイズするには](#)

[フローティングツールのツールバーを初期状態に戻すには](#)

[フローティングツールで左クリックするには](#)

[フローティングツールで描画するには](#)

[フローティングツールでハイライトするには](#)

[フローティングツールで削除するには](#)

[フローティングツールで線描画するには](#)

[フローティングツールで図形描画するには](#)

[フローティングツールで右クリックするには](#)

[フローティングツールで最後の操作を取り消すには](#)

[プレイリストを作成するには](#)

[プレイリストからビデオを実行させるには](#)

[プログラムに直接テキストを入力するには](#)

[プロパティタブを開くには](#)

[プロパティタブを移動するには](#)

[プロパティタブを広げるには](#)

[プロパティタブを自動的に隠すには](#)

[複合セルを選択するには](#)

[複数のオブジェクトを選択するには](#)

[フラッシュファイルをswfファイルからページに挿入するには](#)

[編集メニューで初期アプリケーションを変更するには](#)

[ペンツールを使ってフリーハンドでオブジェクトを作成するには](#)

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

[ペン設定を変更するには](#)  
[ペンフローティングツールをカスタマイズするには](#)  
[ページ拡大を選択するには](#)  
[ページをピンで留めるには](#)  
[ページのピンを外すには](#)  
[ページを開いた時にリンクを表示するには](#)  
[ページを表示するには](#)  
[ページのクローンを作成するには](#)  
[ページを削除するには](#)  
[ページを拡大するには](#)  
[ページの名前を変更するには](#)  
[ページを再アレンジするには](#)  
[ページにスクリーンシェードを追加するには](#)  
[ページの一部を見せるようにするには](#)  
[ページからスクリーンシェードを取り除くには](#)  
[ページに図形を追加するには](#)  
[ページにテキストを入力するには](#)  
[ページのオブジェクトにビデオファイルを添付するには](#)  
[ページにSMART Responseタイトルページを挿入するには](#)  
[ページにSMART Response質問を挿入するには](#)  
[ページ上の全てのオブジェクトを選択するには](#)  
[ページ上の全てのロックされたオブジェクトを選択するには](#)  
[ページからテキストを切り取って貼付けるには](#)  
[ページからテキストをコピーして他のプログラムに貼付けるには](#)  
[ページにギャラリー項目を追加するためには](#)  
[ページ上でオブジェクトを移動するには](#)  
[ページをクリアするには](#)  
[ページからデジタルリンクを削除するには](#)  
[ページから表を取り除くには](#)  
[ページソーターを開くには](#)  
[ページソーターを移動するには](#)  
[ページソーターの幅を広げるには](#)  
[ページソーターを自動的に隠すには](#)  
[ページソーター内のグループにアクセスするには](#)  
[ページをレコーディングするには](#)  
[ページレコードを開始するには](#)  
[ページレコードを削除するには](#)  
[他のプログラムからテキストをカットしてページに貼付けるには](#)  
[他のプログラムからテキストをコピーしてページに貼付けるには](#)  
[他社のホワイトボードプログラムからファイルをインポートするには](#)

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)

[ボタン設定を変更するには](#)

## ま

[マウス設定を変更するには](#)

[マニュアルでSMART Notebookの更新を行なうには](#)

[マイコンテンツにサポートファイルを追加するには](#)

[右クリックするには](#)

## や

[ようこそセンターを開くには](#)

## ら

[列のサイズを変更するには](#)

[列を追加するには](#)

[列を削除するには](#)

[列を選択するには](#)

[レコーダーのビデオとオーディオ音質を変更するには](#)

[レコーダーのビデオとオーディオ音質を初期状態に戻すには](#)

[レコーディングのビデオフォーマットを変更するには](#)

[レコードファイルのロケーションを変更するには](#)

[レコードファイルのロケーションを初期状態に戻すには](#)

[レコーディングを行なうには](#)

[目次に戻る](#)

[索引から検索する](#)